# 奈良県感染症発生動向調査事業報告

# 平成３１年・令和元年　内科・小児科感染症の概要

## 1. 平成３１年・令和元年の流行状況（定点当り）

**〈全国〉**

平成３１年・令和元年に、特に流行した疾患は、手足口病と伝染性紅斑であった。いずれも、それぞれの疾患における過去 10 年間での最多であった。一方、著しく少なかった疾病は感染性胃腸炎、突発性発疹、流行性耳下腺炎で、いずれも過去 10 年間での最少であった。

**〈奈良県〉**

県で流行した疾病は、RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑で、共に過去 10 年間で 2 番目に多かった。一方、特に少なかった疾病は、水痘、流行性耳下腺炎で、共に過去 10 年間で最少であった。全国より多かった疾病は、RS ウイルス感染症、感染性胃腸炎であった。

## 2. 近隣府県と奈良県の関連状況（定点当り）

奈良県と近隣府県(三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県)の合計７府県の中で、定点当りで奈良県が最も多かった疾患(1 位)はなかったが、以下、多い順から、(2 位)RS ウイルス感染症、(3 位) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(3 位)感染性胃腸炎、(3 位)突発性発疹、(5 位) 咽頭結膜熱、(５位)手足口病、(5 位)ヘルパンギーナ、(６位)インフルエンザ、(6 位)水痘、(6 位)伝染性紅斑、(6 位)流行性耳下腺炎であり、奈良県が最も少なかった疾患(7 位)はなかった。

## 3. 地区別（保健所別）での報告数（定点当り）の状況（県平均との比較）

地区別(保健所別)で、県平均より報告数が多い疾病を見てみると、奈良市保健所は水痘、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、郡山保健所は水痘、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎であった。中和保健所は水痘と流行性耳下腺炎を除く全ての疾患が、県平均より報告が多かった。また、吉野保健所はヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎が県平均より報告が多かったが、内吉野保健所は突発性発疹を除く全ての疾病が県平均より少なかった。

## 4. 月別の発生状況（定点当り）

各疾病の月別流行状況を見てみると、インフルエンザは１月に、RS ウイルス感染症は

9 月に、咽頭結膜熱は 6～7 月に、A 群溶連菌咽頭炎は 4～6 月と 12 月に、感染性胃腸炎は 1 月、4 月、12 月に、水痘は 6 月に、手足口病は 6 月～7 月に、伝染性紅斑は 6 月～7 月と 11 月～12 月に、突発性発疹は 6 月～7 月に、ヘルパンギーナは 6～8 月に、流行性耳下腺炎は 6 月～7 月にかけて流行した。

**5. 世代別（1 歳平均）での報告数（実数）の状況**

インフルエンザは幼児期 658.8 件、学童期 557.4 件の順で多く、RS ウイルス感染症は乳児期 496.0 件、幼児期 299.2 件、咽頭結膜熱は幼児期 125.4 件、乳児期 72.0 件、A 群溶連菌咽頭炎は幼児期 310.6 件、学童期 145.1 件、感染性胃腸炎は幼児期 995.8 件、乳児期 651.0 件、水痘は幼児期 30.6 件、学童期 25.7 件、手足口病は幼児期 520.0 件、乳児期 388.0 件、伝染性紅斑は幼児期 104.6 件、学童期 35.8 件、突発性発疹は乳児期 226.0 件、幼児期 87.2 件、ヘルパンギーナは幼児期 131.2 件、乳児期 81.0 件、流行性耳下腺炎は幼児期 8.6 件、学童期 5.2 件であった。

柳生　善彦　記

# インフルエンザ定点分
# （小児科定点・内科定点）

## 1.インフルエンザ

図 1-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

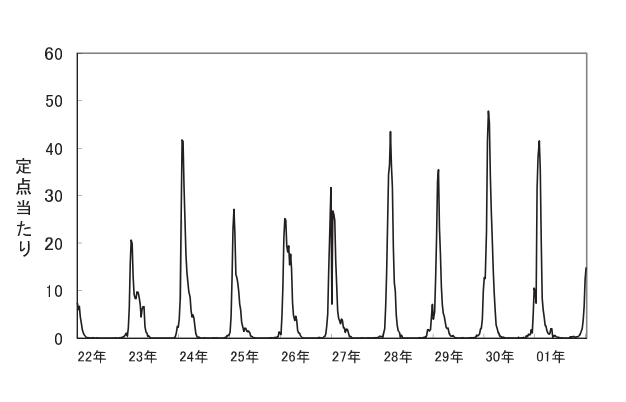



図 1-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

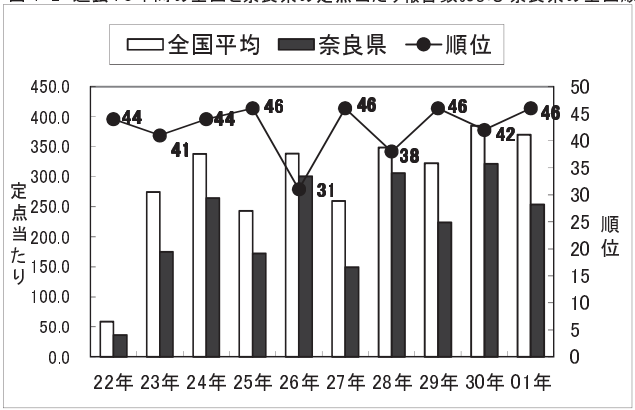



図 1-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

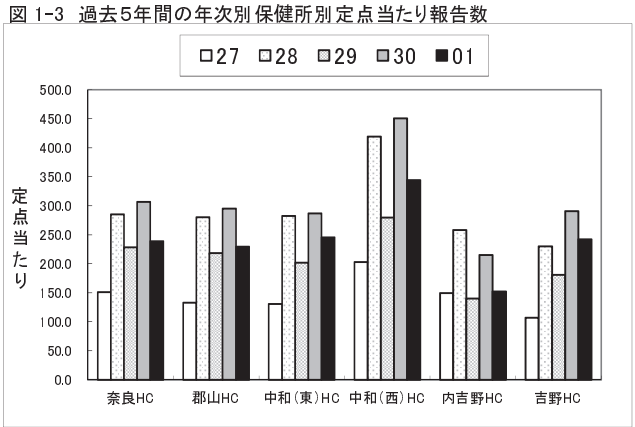



図 1-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

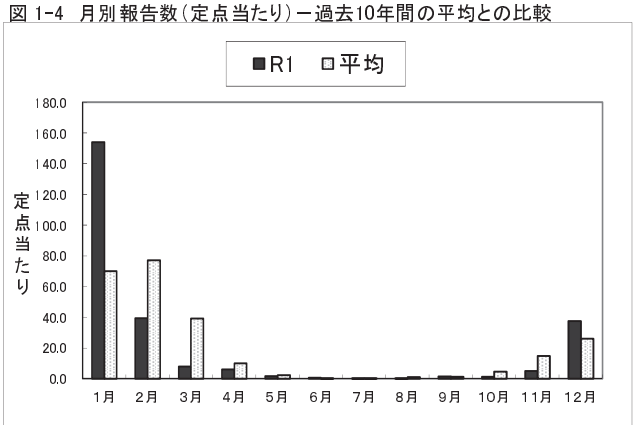



図 1-5　週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

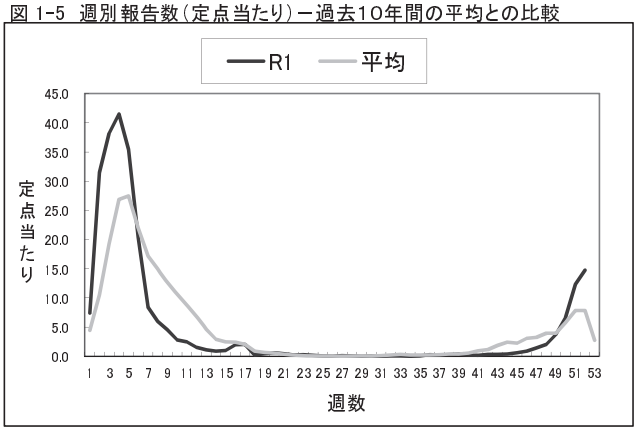
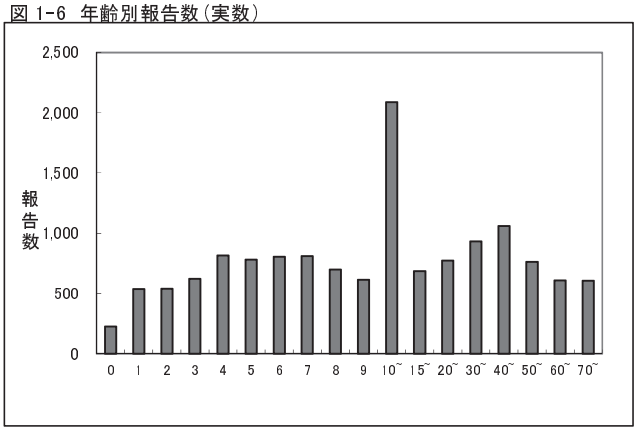



図 1-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

奈良県の定点当たりの報告数は253で、昨年より減少し、全国で46番目であった。
月別では昨年より遅れて12月ごろから流行の兆しがみられた。
2019年のインフルエンザは、AH1pdm09、AH3(香港型)、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)が検出された。1月から4月にかけて、AH1pdm09とAH3(香港型)が同時期に流行し、AH1pdm09を19株、AH3(香港型)31株を検出した。シーズンが変わり10月以降ではAH1pdm09のみが主流となり、17株検出した。

(榊原　葉月　記)

# 小児科定点分

## 2.RSウイルス感染症

図 2-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

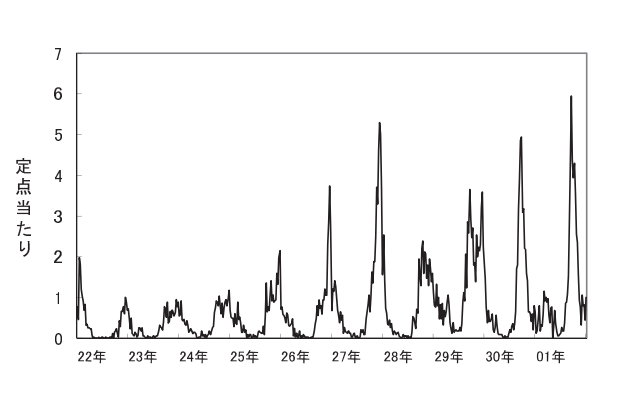



図 2-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

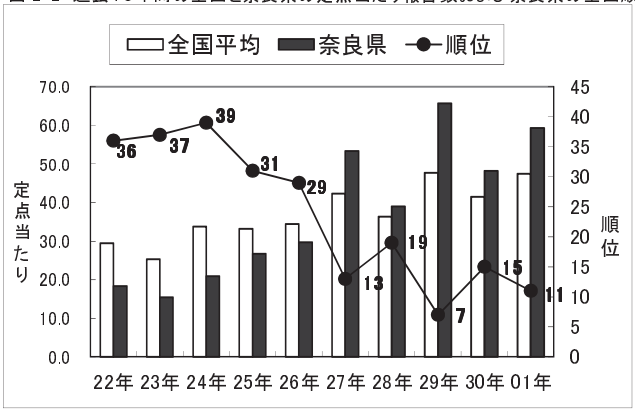



図 2-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

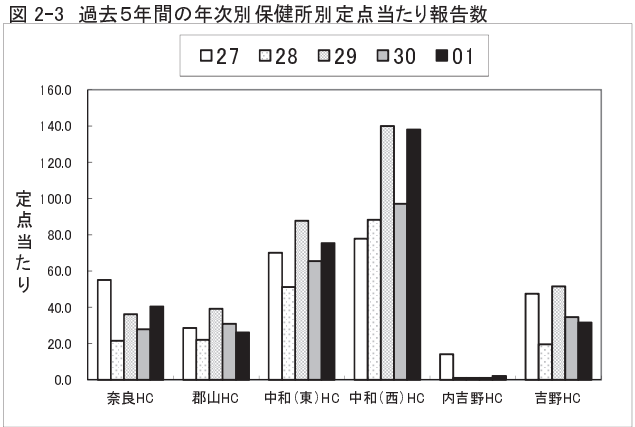



図 2-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

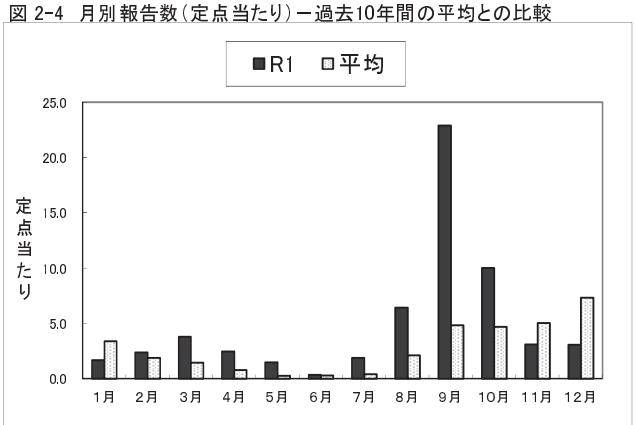



図 2-5　週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

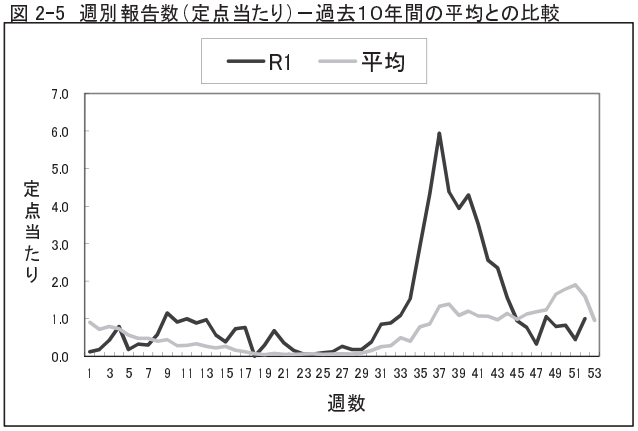
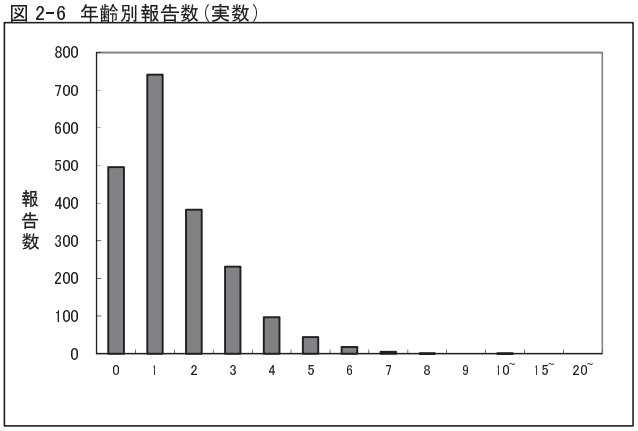



図 2-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

定点あたりの報告数は昨年より増加し、59.3と全国15位から11位となった。

月別報告では冬季に小さい流行があり、9月10月に最多となり、この2か月は過去10年間の平均と比べても倍以上の患者数であった。

RSウイルスは、ここ数年検出開始時期が早まっており、2019年は4月に1株、8月以降12月までウイルスを11株検出した。

（榊原　葉月　記）

## 3.咽頭結膜熱

図 3-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

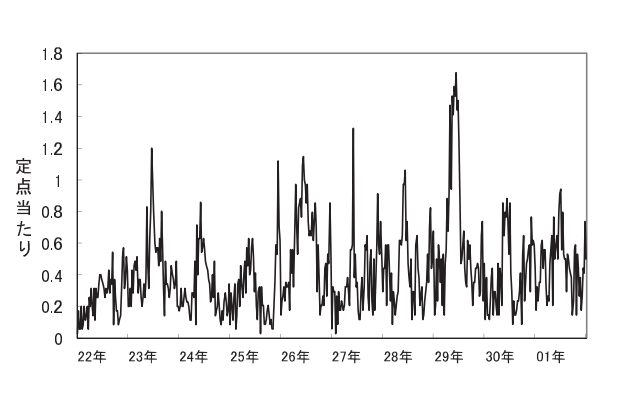



図 3-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

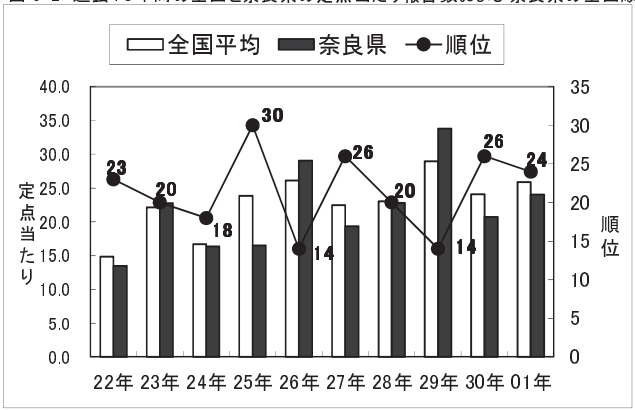



図 3-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

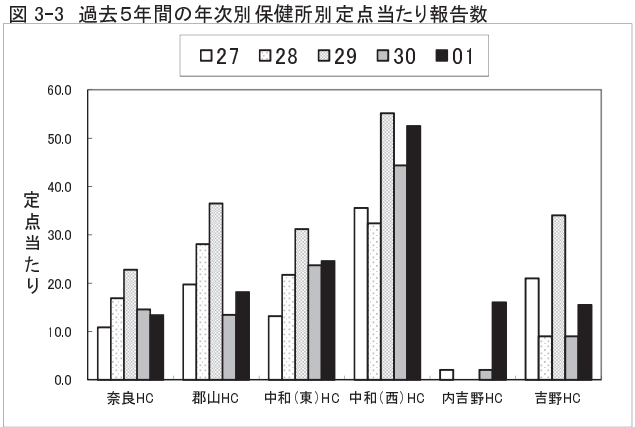



図 3-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

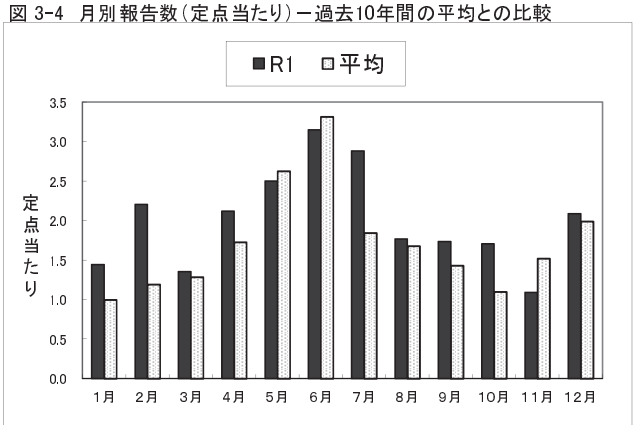



図 3-5　週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

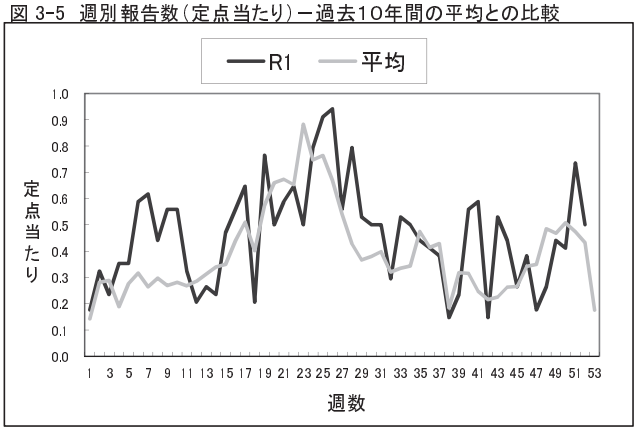
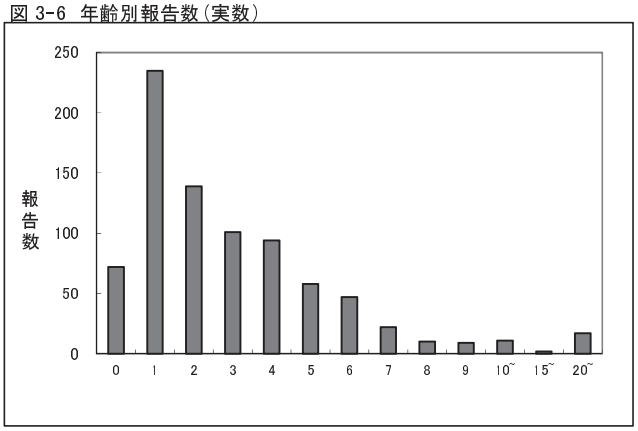



図 3-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

定点あたりの報告数は昨年と同程度で、全国24位であった。
月別報告では4月から増加傾向を認め、6月が最多となり、8月にかけて漸減している。
咽頭結膜熱患者からの検体搬入は6例あり、アデノウイルス2型2株、3型2株を検出した。

(榊原　葉月　記)

## 4.A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

図 4-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

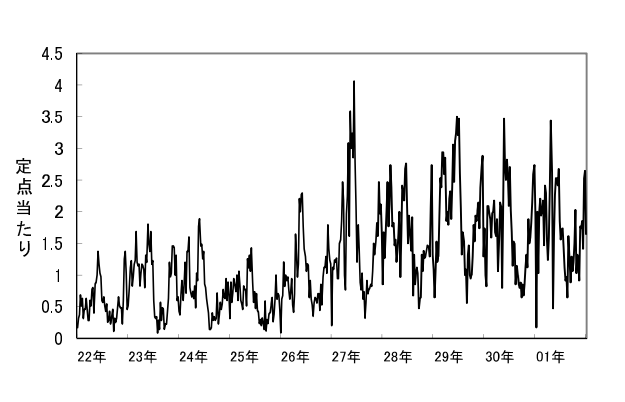



図 4-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

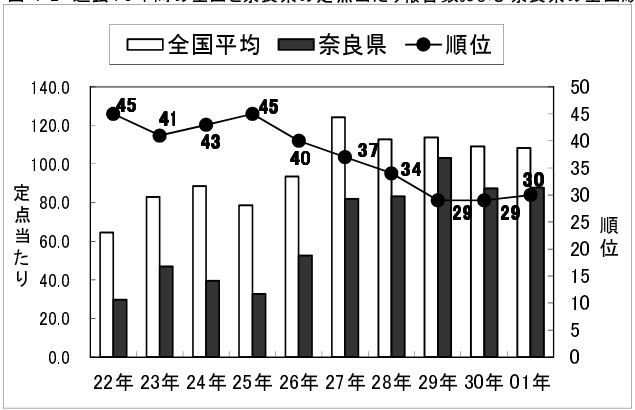



図 4-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

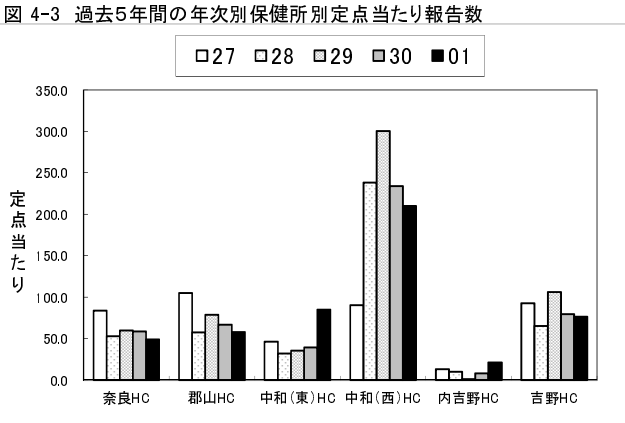



図 4-4　月別報告数(定点当たり)－過去10年間の平均との比較

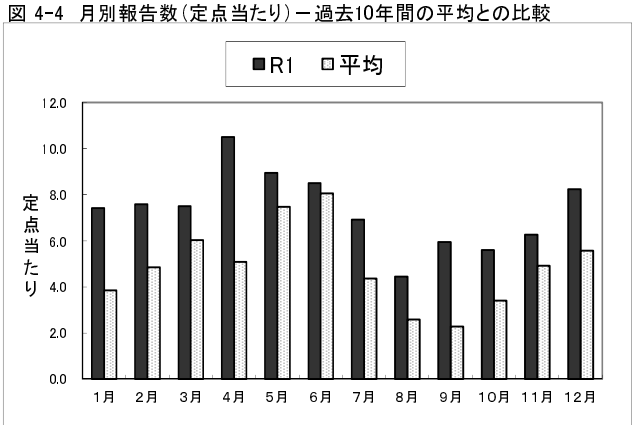



図 4-5　週別報告数(定点当たり)－過去10年間の平均との比較

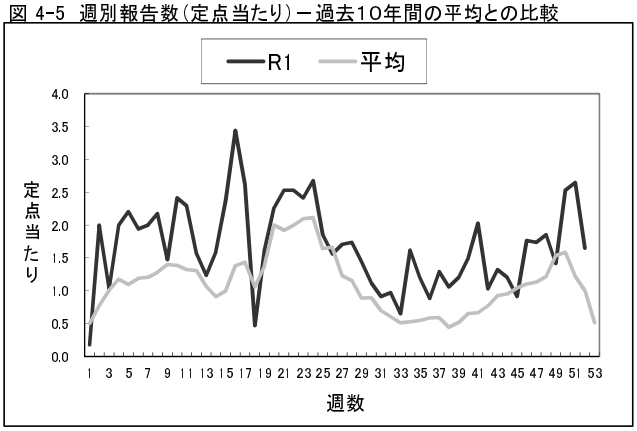
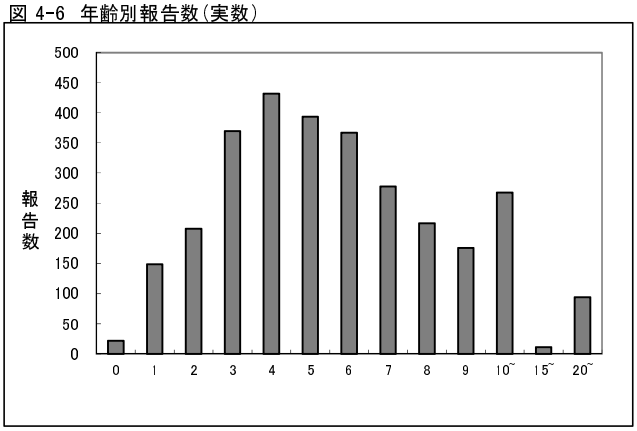



図 4-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年における全報告数は、2,986例、定点あたり87.82で、昨年とほぼ変わらず、全国平均(108.40)よりは少ない。 過去10年間の定点あたり報告数を見ると27～28年と同程度であり、全国順位は30位である。

保健所別定点あたりの報告数では、例年通り、中和(西)がもっとも報告数が多く(209.83)、中和(東)(85.00)、吉野(76.50)、郡山(57.67)、奈良市(48.78)、内吉野(21.00)となっており、中和(東)と内吉野以外は、一昨年より減少傾向が続いている。

月別定点あたり報告数は、昨年同様、過去10年間の平均よりどの月も多い。4月にピークはあるが、1月から7月までと12月の定点あたりの報告数の差は縮まり、季節性がなくなりつつある。

週別定点あたり報告数は、過去10年間の平均より早く、15週～17週にピーク(2.38～3.44)を認めるが、10週～11週、20週～24週、50～51週も2.0以上で推移し、季節による差はなくなってきている。

年齢別の実報告数では4歳(432例)をピークにほぼ一峰性に分布し、0歳から9歳までの年代で全体の87.5%を占めていた。

(水野　文子　記)

## 5.感染性胃腸炎

図 5-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

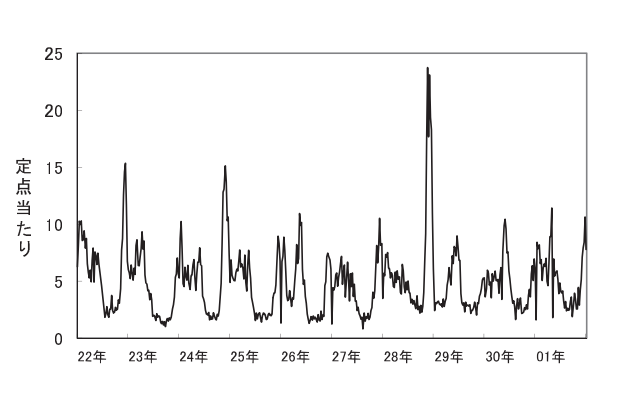



図 5-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

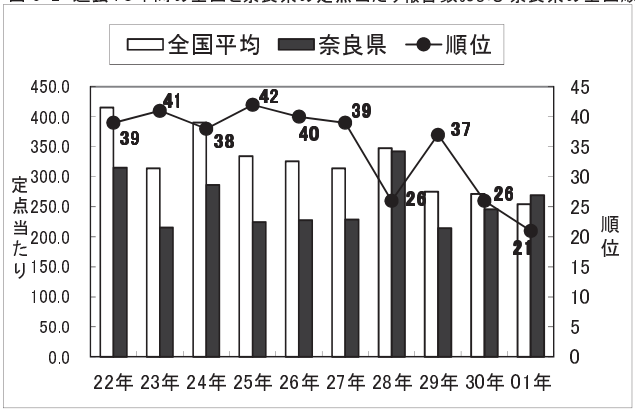



図 5-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

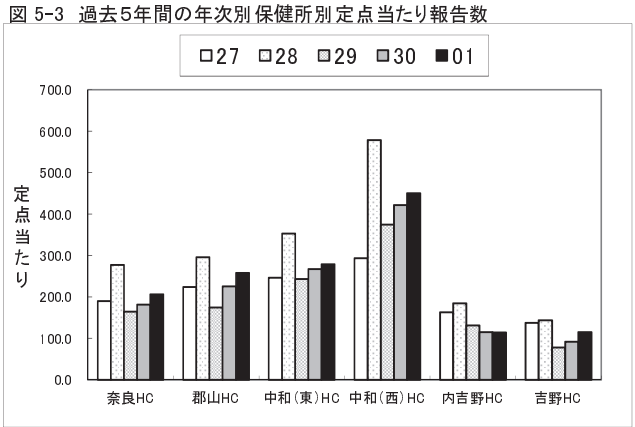



図 5-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

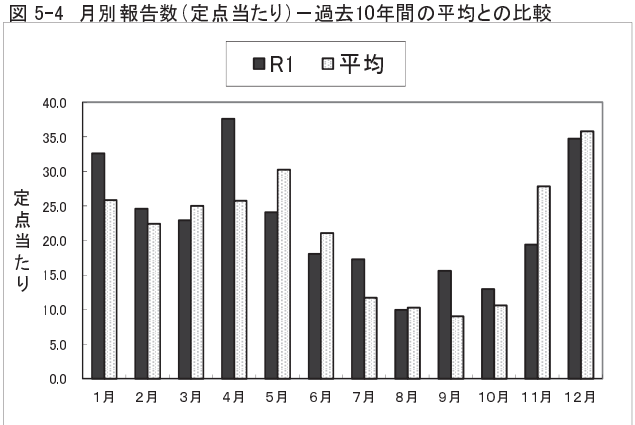



図 5-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

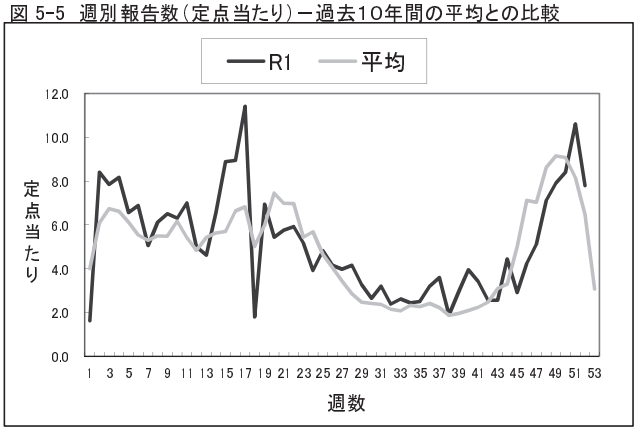
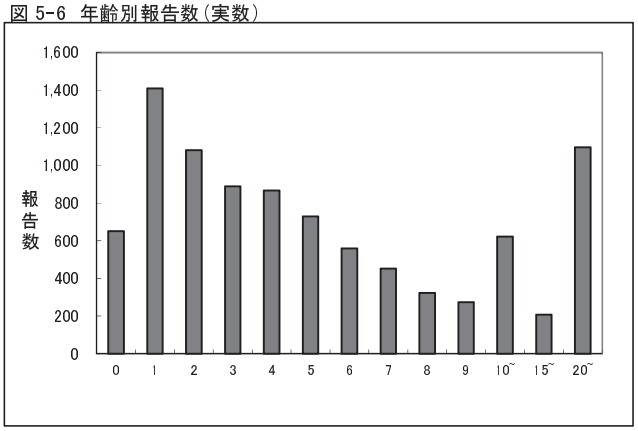



図 5-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年における全報告数は、9,168例、定点あたり報告数は269.65で、平成30年度より漸増した。 過去10年間で初めて全国平均(254.38)を上回り、順位も過去最高の21位となった。

保健所別の定点あたりの報告数は、多い方から、中和(西)(450.17)、中和(東)(278.57)、郡山(258.00)、奈良市(205.78)、吉野(114.05)、内吉野(114.00)の順で、内吉野以外は平成30年を上回った。

月別定点あたり報告数を見ると、4月がピーク(37.59)で、過去10年間の同月の平均を大きく上回った。昨年と違い、冬季の報告数が多く、例年報告数の少ない夏季においても、7月、9月は過去10年間の平均を上回っており、全報告数の増加に表れている。

週別定点あたり報告数は、令和元年は15～17週(8.88～11.41)、48～51週(7.12～10.62)にピークが認められる。

年齢別報告数は、例年と同様、1歳(1,410例)が最多、0歳(651)、2歳(1,082)、3歳(890)、4歳(868)、5歳(729)と乳幼児期で全体の61.4%を占めている。20～29歳の成人の報告数が昨年に続いて1000例を越え、増加している。

ウイルスの検出状況:感染性胃腸炎と診断された検体からは9種類のウイルスが検出され、ノロウイルスが多く(22株)、ほぼ年間を通して検出された。

(水野 文子 記)

## 6.水痘

図 6-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

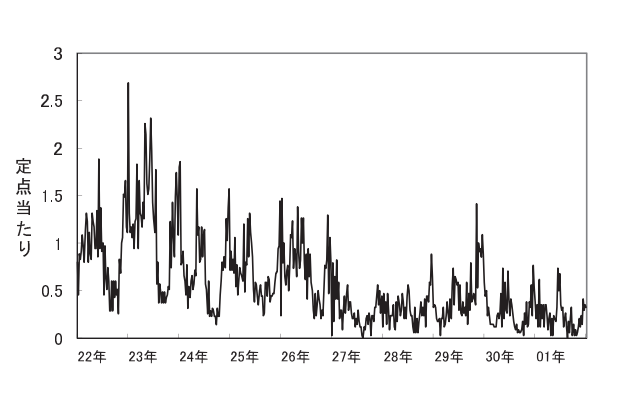



図 6-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

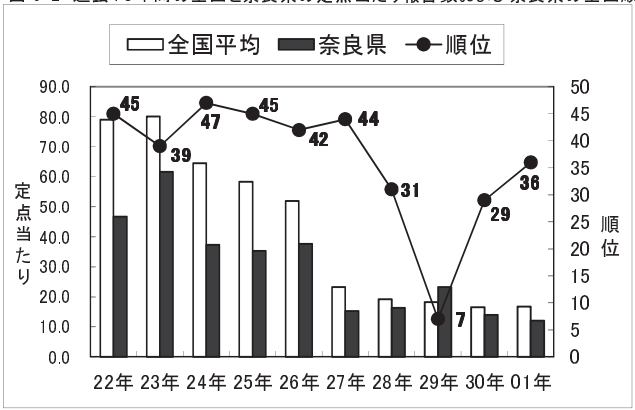



図 6-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

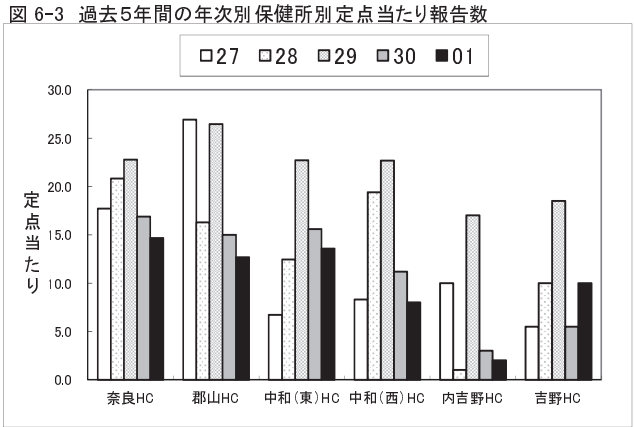



図 6-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

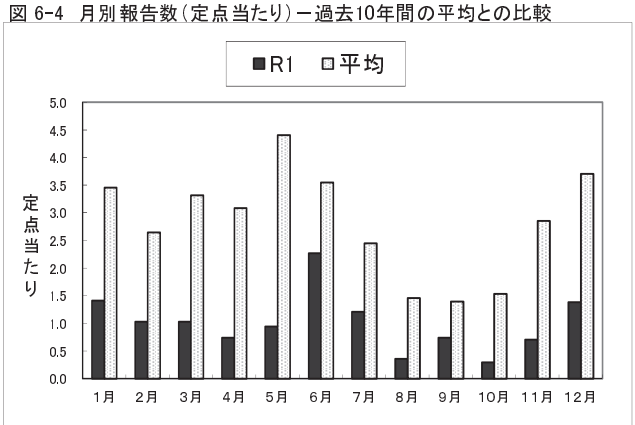



図 6-5　週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

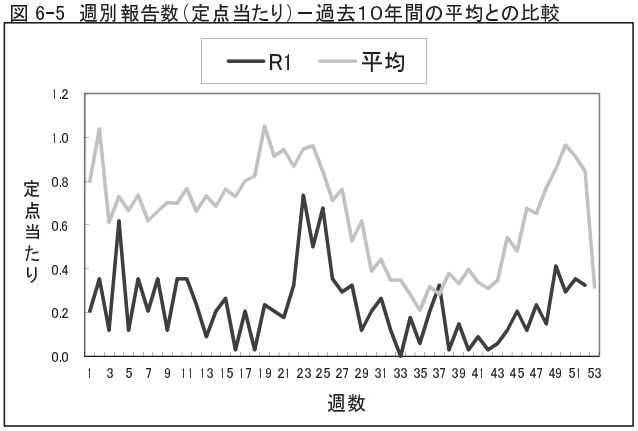
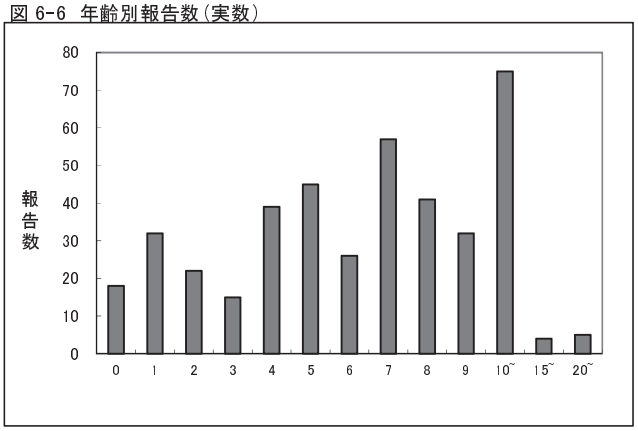



図 6-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年における全報告数は411例、定点あたり報告数は12.09(全国平均16.72)で前年より漸減した。 平成29年は全国平均を上回って増加したが、平成30年(14.03)よりさらに減少し、最も少なくなった。

保健所別定点あたり報告数は、吉野保健所(10.00)のみ昨年より増加し、奈良市保健所(14.67)、中和(東)(13.57)、郡山(12.67)、中和(西)(8.00)、内吉野(2. 00)はいずれも漸減した。

月別の定点あたり報告数はすべての月で過去10年間の平均より下回り、6月(2.26)を除き、定点あたり1.5以下であった。

週別の定点あたり報告数は、夏(23～25週)と冬(4週、49週)にやや増加する傾向は変わらないが、37週以外のすべての週で過去10年間の平均を下回っている。

年齢別報告数(実数)は7歳(57例)がピークで、5歳(45例)、8歳(41例)で40例を超えているが、全体にピークが右にシフトし、ワクチン定期接種の効果と考えられる。 4歳以下は4歳(39例)、3歳(15例)、2歳(22例)、1歳(32例)、0歳(18例)で、30.7%を占め、昨年と変わりない。引き続き多くの小児がワクチン2回目接種を完了するまで、動向をみていきたい。

(水野　文子　記)

## 7.手足口病

図 7-1　過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

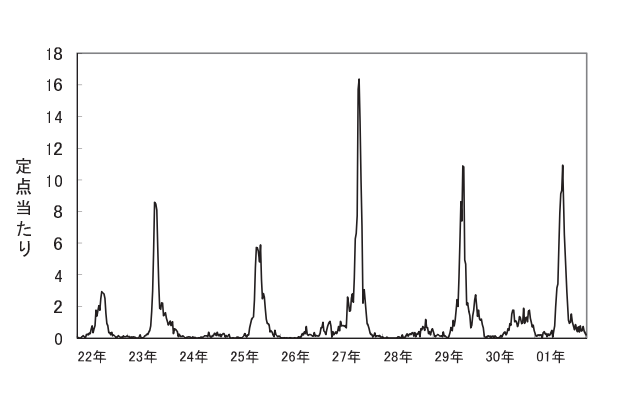



図 7-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

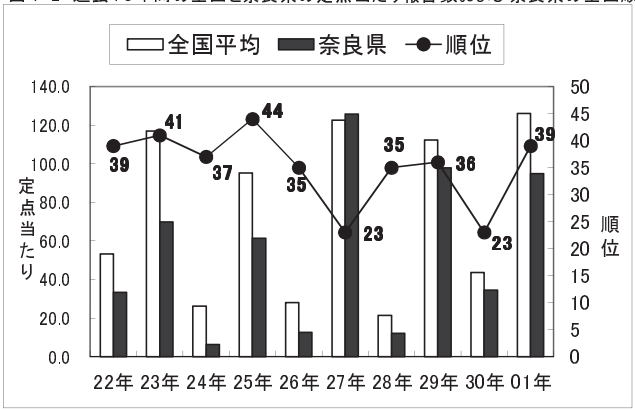



図 7-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

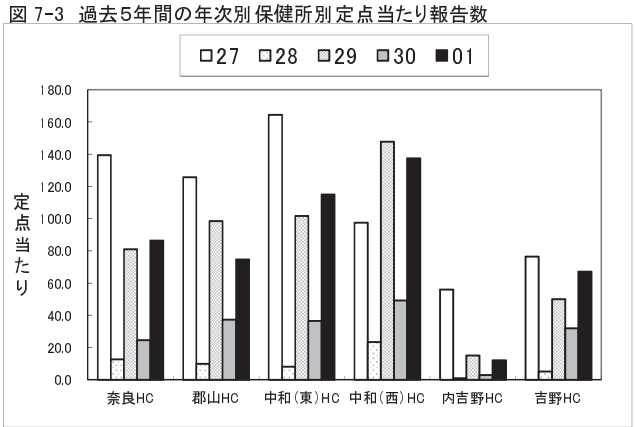



図 7-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

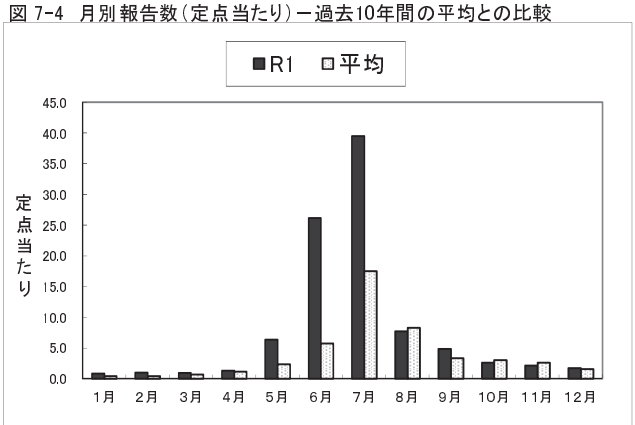



図 7-5　週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

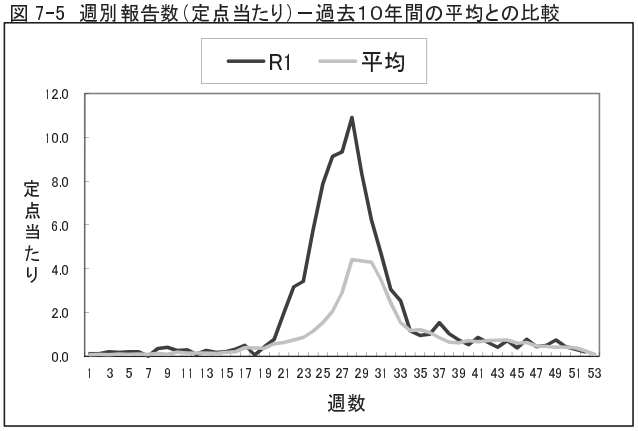
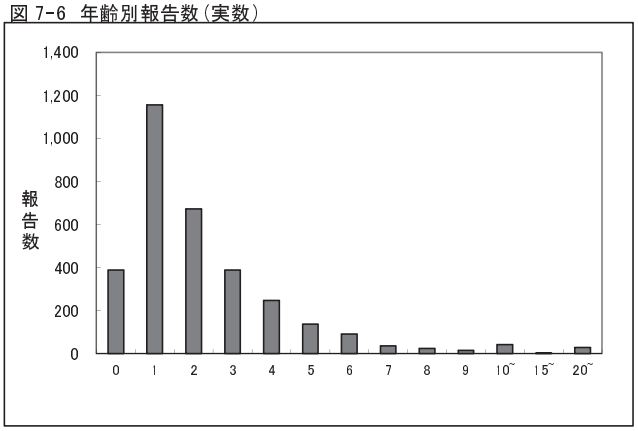



図 7-6　年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和1年における全報告数は3,225例，定点当たりの報告数は94.85(全国平均：126.09)だった。また，都道府県別の定点当たりの報告数でみると，昨年の全国順位は第23位と高かったが，令和1年は第39位と例年通りの順位に戻った。過去10年間の定点当たりの報告数の推移をみると，ほぼ隔年周期の流行を認めており，令和1年は流行年であった。

保健所別に定点当たりの報告数をみると，例年通り北中部保健所からの報告数が圧倒的に多く，中和保健所(西)：137.33と最多，中和保健所(東)：115.0，奈良市保健所：86.44が順に続き，次いで郡山保健所：74.67，吉野保健所：67.00とほぼ同程度で，内吉野保健所：12.00で最少だった。

月別・週別に定点当たりの過去10年間の平均報告数をみると，昨年の2峰性に近い分布から例年通り7月をピークにした6月：26.15～7月：39.50(第26～29週頃)に集中する一峰性分布になっていた

年齢別の実報告数をみると，0歳(388例)，1歳(1,156例)，2歳(672例)，3歳(388例)にほぼ集中しており，これらの年代で全報告数の約80%を占めていた。また，6歳までの小学校就学前の年代で全報告数の95.5%(3,079例)を占めており，例年通りの年齢分布であった。

平成22年以降は隔年周期で流行が繰り返されており，令和1年は上述の様に流行年に当たっていた。手足口病の主要原因ウイルス種は，コックサッキーウイルスA群16型(CA16)やエンテロウイルス71型(EV71)などであるが，病原体定点より6～7月にかけて集中して提出された検体では，CA16・EV71ではなくコックサッキーウイルスA群6型が大多数検出されていた。

(村井　孝行　記)

## 8.伝染性紅斑

図 8-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

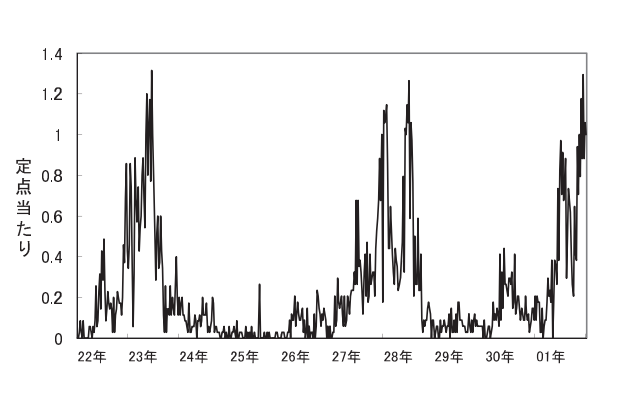



図 8-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

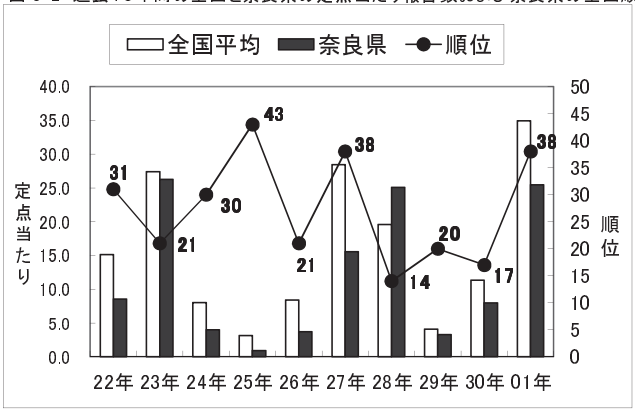



図 8-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

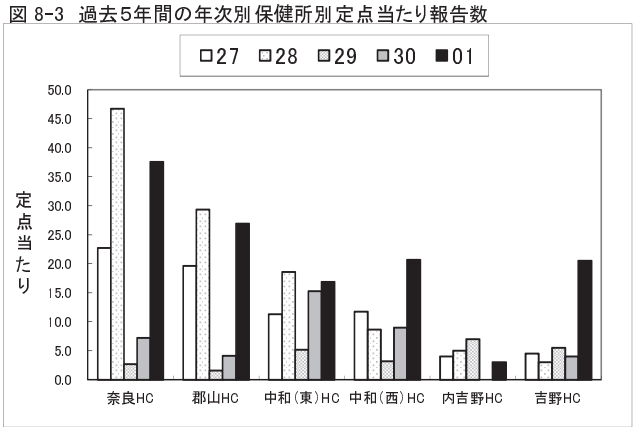



図 8-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

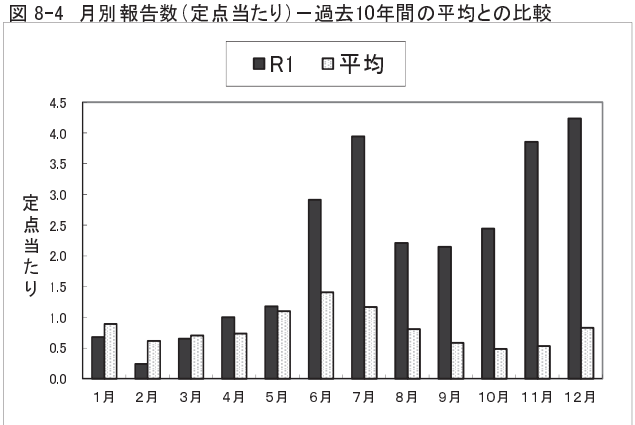



図 8-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

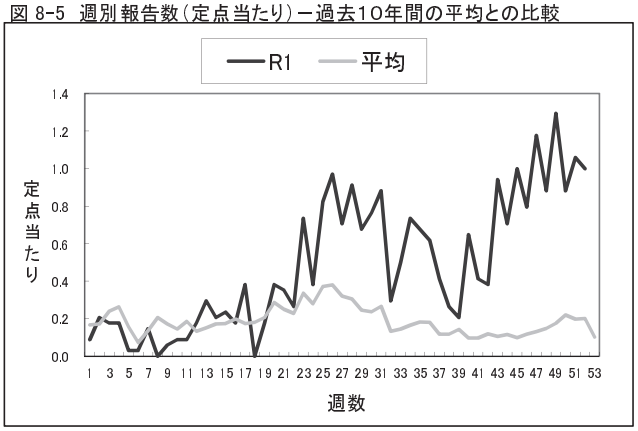
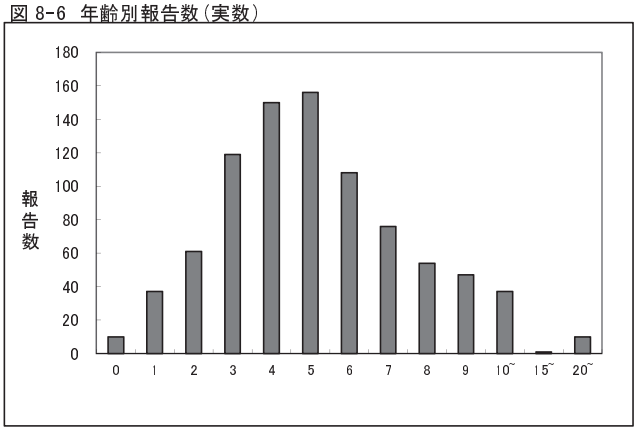



図 8-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和1年における全報告数は866例，定点当たりの報告数は25.47(全国平均;34.92)だった。過去10年間の定点当たりの報告数をみると，ほぼ3～4年間隔で流行しており，令和1年は平成23年(26.26)に次ぎ，過去10年間において2番目に多い流行年となっていた。都道府県別に定点当たりの報告数をみると，昨年は全国平均(11.35)を下回っていたものの全国順位は第17位(7.97)であったが，令和1年は第38位となっていた。

保健所別に定点当たりの報告数をみると，平成29年は南部保健所＞中部＞北部，平成30年は中部保健所＞北部＞南部の順に多かったが，令和1年は吉野保健所が20.50と激増していたことを除き，奈良市保健所;37.56，郡山保健所;26.89と例年通り北部保健所が最多となっていた。ついで，中和保健所(西);20.67，中和保健所(東);16.86と中部保健所が続き，内吉野保健所;3.00が最小であった。

月別・週別に定点当たりの過去10年間の平均報告数をみると，例年は5～7月頃(第16～28週頃)をピークとするほぼ一峰性分布だったが，令和1年はこのピーク時以降は一旦減少したものの，再度10月(40週頃)から増加し続けて11～12月(43～52週頃)にかけてピークを形成し二峰性分布となっていた。

年齢別での実報告数をみると，令和1年も4～5歳をピークとした一峰性分布を成しており，この年代の4歳(150例)～5歳(156例)で全報告数のほぼ35%(306例)，また，0～9歳の年代で94.5%(818例)を占めていた。

伝染性紅斑(リンゴ病)は，主にヒトパルボウイルスB19(HPV-B19)による感染症である。HPV-B19は，赤芽球前駆細胞(赤血球の前段階)に感染し破壊することがあるため，妊婦が初感染で胎児まで感染がおよんだ場合，胎児の赤血球は減少し重症胎児貧血による胎児水腫が原因で死産に至る。また，流産や子宮内胎児発育遅延の原因にもなり，特に家庭内に好発年齢の小児がいる妊婦は細心の注意を要する。

(村井 孝行 記)

## 9.突発性発しん

図 9-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

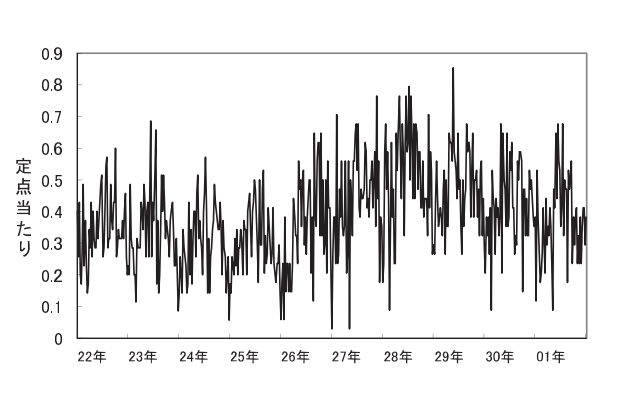



図 9-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

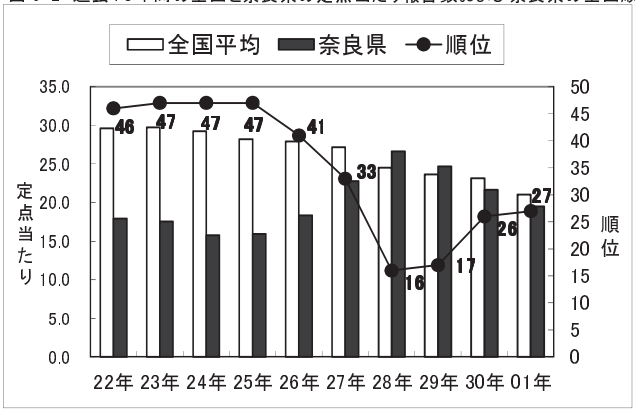



図 9-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

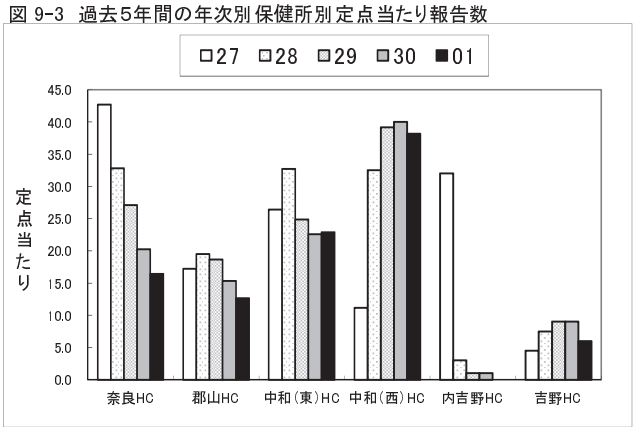



図 9-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

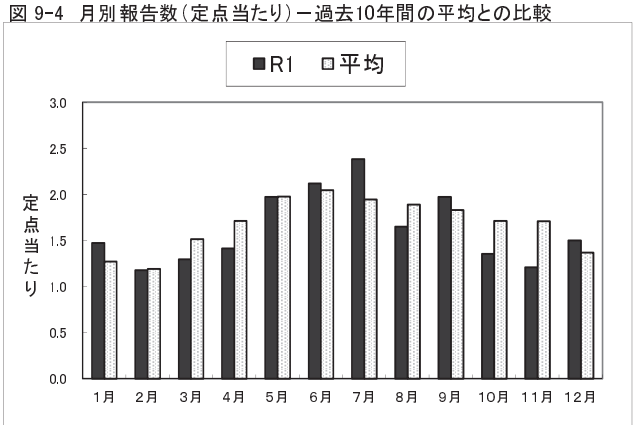



図 9-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

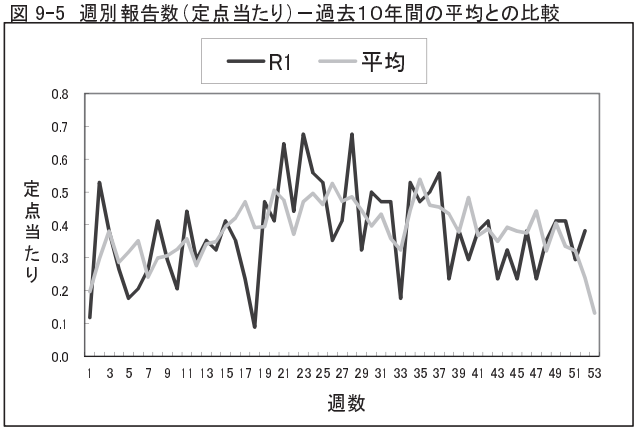
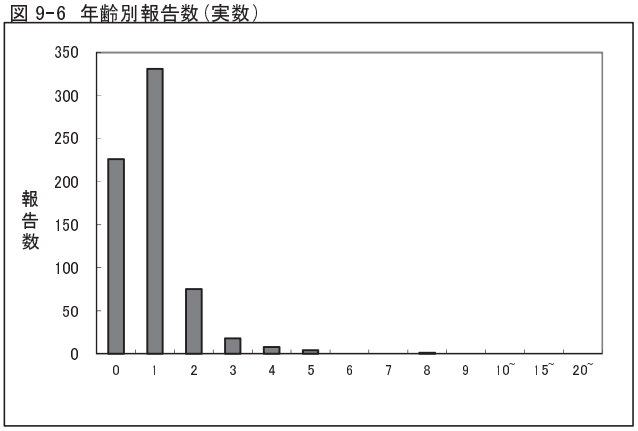



図 9-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和1年における全報告数は663例，定点当たりの報告数は19.50(全国平均;21.03)で，3年ぶりに全国平均をやや下回った昨年と同様であった。過去10年間の定点当たりの報告数をみると，平成22年以降は全国的になだらかな減少傾向を認めているのに対し，奈良県でも平成28年以降は減少傾向であるが，高レベルが続いているために都道府県別全国順位も昨年と同等の第27位だった。

保健所別に定点当たりの報告数をみると，平成28年から中部の保健所からの報告が多い状況が続いており，令和1年も昨年と同じく中和保健所(西);38.17と突出しており，中和保健所(東)も22.86と多かった。ついで，奈良市保健所;16.44，郡山保健所;12.67とほぼ同数で，ここ数年間の傾向に大きな変わりはなかった。また，吉野保健所は6.00，平成28年より内吉野保健所からの報告数が激減しており令和1年も0と4年連続で最少であった。

月別・週別に定点当たりの過去10年間の平均報告数と比較すると，令和1年も例年通りに5～6月の梅雨入り前後から7～9月の夏場～初秋をピークの山とする概ね一峰性に近い分布ではあったが，ピーク時期の8月(第33週頃)，また，10～11月(第38～47週頃)にかけての定点当たりの報告数が例年と比べて減少していた。

年齢別に実報告数をみると，0歳(226例)と1歳(331例)で全報告数のほぼ80%強を占めており，2歳児以降の年代では散発な報告に留まっていた。

突発性発しんは，主にヒトヘルペスウイルス6，7(HHV-6，HHV-7)やエンテロウイルスを原因ウイルスとする感染症で，母体からの移行HHV-7抗体は，HHV-6抗体よりも長期間持続するといわれている。このため，HHV-6による突発性発しんに遅れてHHV-7による2度目の突発性発しんと臨床的に経験されるという報告もある。

(村井 孝行 記)

## 10.ヘルパンギーナ

図 10-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

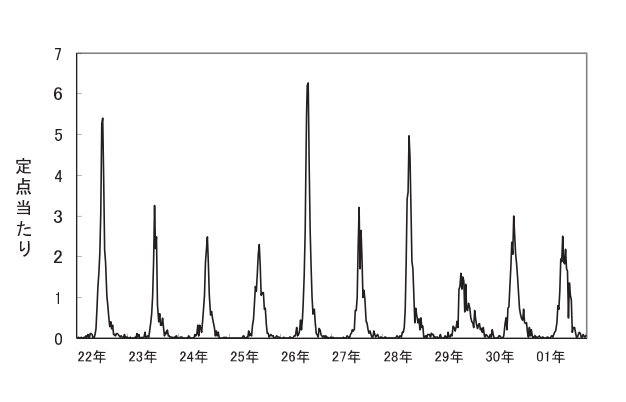



図 10-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

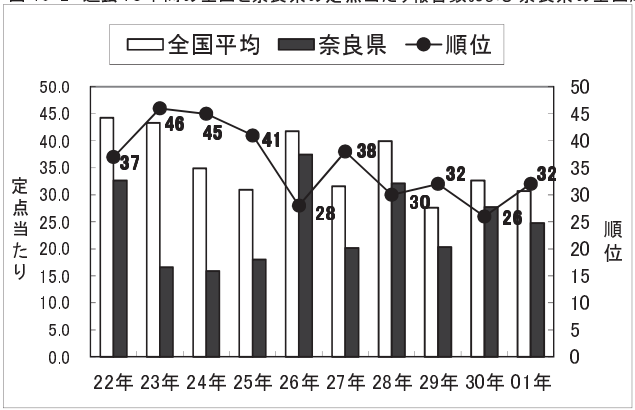



図 10-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

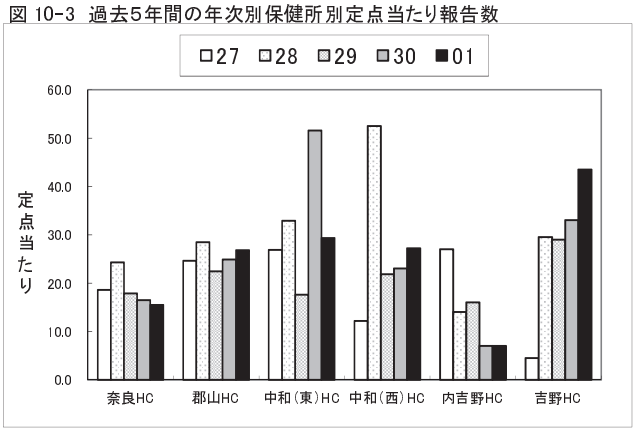



図 10-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

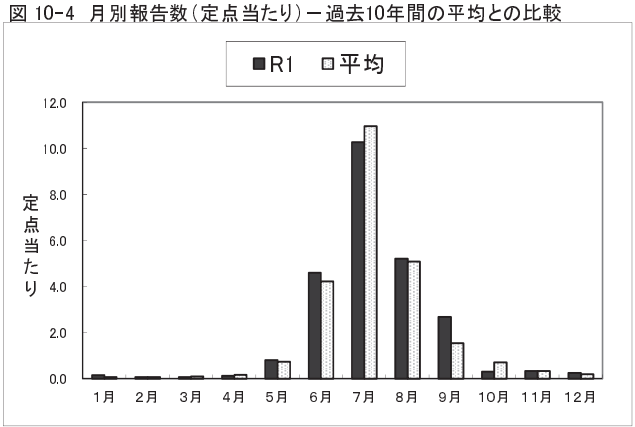



図 10-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

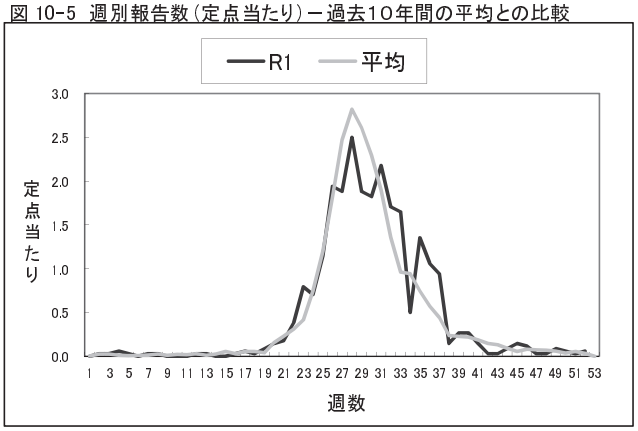
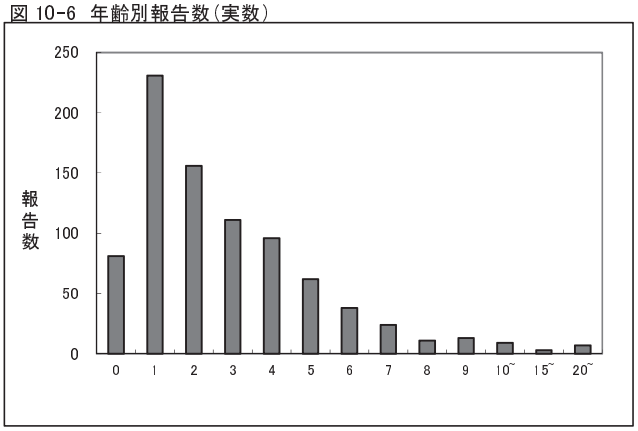



図 10-6 年齢別報告数(実数)




### コメント

R1の奈良県の報告数は842人(定点当たり24.76)であった。

【図10-1】過去10年間での最多の週は、H26の第29週(6.26)(213人)であった。R1では第28週(2.50)(85人)で、ピークの高さが過去10年間で4番目に低い年となった。

【図10-2】奈良県は、H23が16.63で全国第46位であった。R1は奈良県(24.76)(32位)で、H29と同順位に戻った。また、例年同様(10年連続)、定点当たり報告数は全国平均(30.71)を下回っていた。

【図10-3】R1は①吉野 (43.50)、②中和(東) (29.29)、③中和(西) (27.17)、④郡山(26.78)、⑤奈良市(15.44)、⑥内吉野(7.00)の順であった。また、同一保健所管内での推移では、吉野でR1が最多となった。一方、奈良市でR1が最少となり、内吉野はH30とR1が同数の最少であった。

【図10-4】最多の月は、10年平均が7月(10.96)で、R1も7月(10.26)であった。

【図10-5】最多の週は、10年平均が第28週(2.82)で、R1も第28週(2.50)(85人)であった。

【図10-6】0歳が81人。1歳が231人で最多であった。以下、8歳(11人)まで年齢が高くなると共に漸減傾向であった。また、年齢階級別報告数は[10-14歳](9人)、[15-19歳](3人)、[20-29歳](7人)であった。

なお、2019年は7月に3例の依頼があり、いずれもコクサッキーウイルスA群6型のウイルスが検出された。

(柳生 善彦 記)

## 11.流行性耳下腺炎

図 11-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

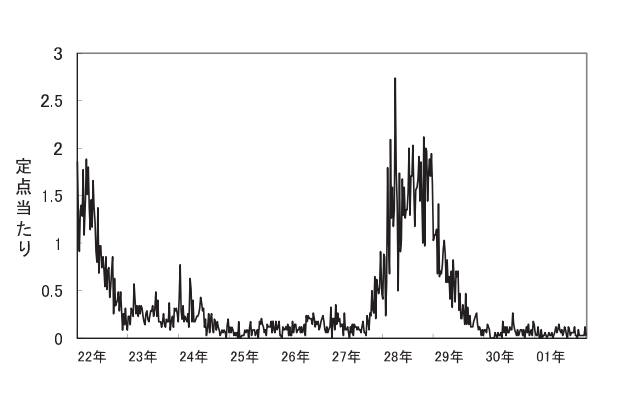



図 11-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

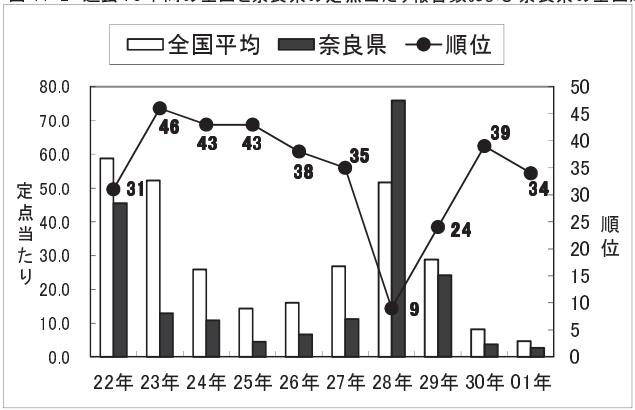



図 11-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

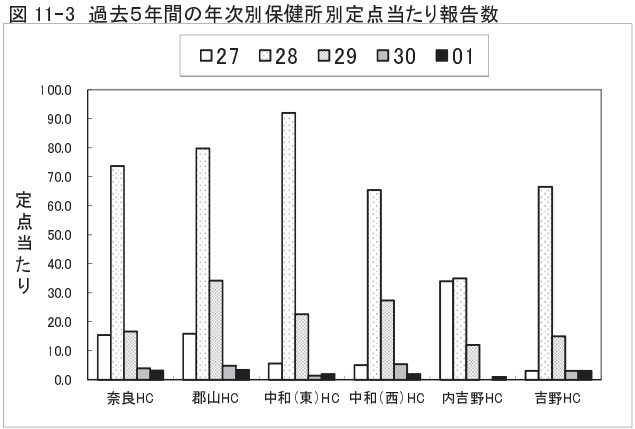



図 11-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

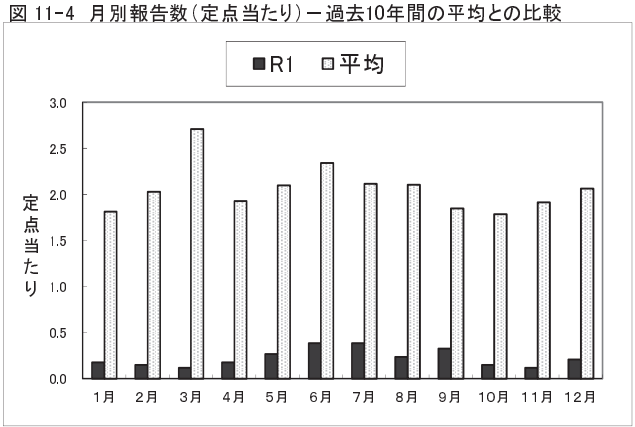



図 11-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

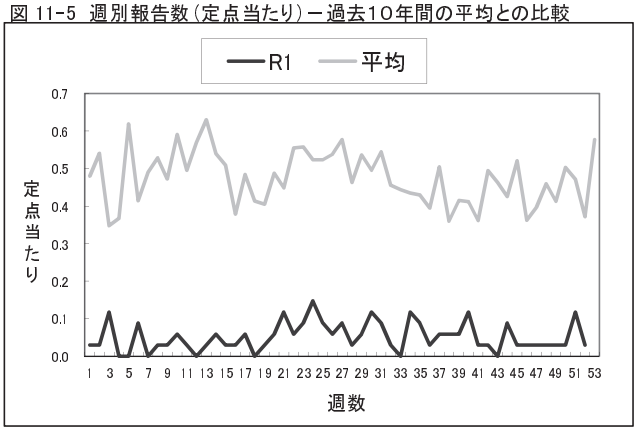
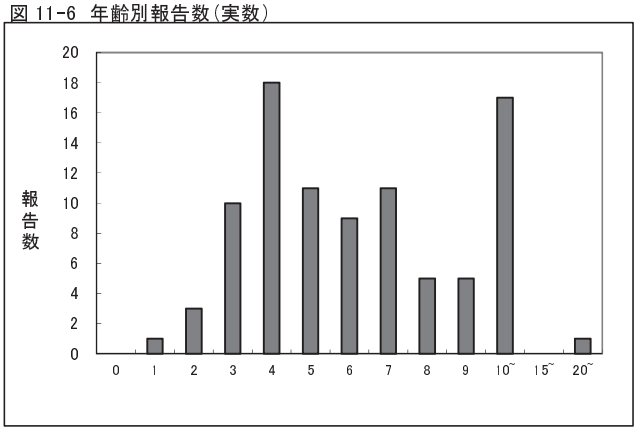



図 11-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

R1の奈良県の報告数は91人(定点当たり2.68)であった。

【図11-1】過去10年間での最多の週は、H28の第13週(2.74)(93人)であった。

【図11-2】全国、奈良県共にR1が過去10年間での最少。そのR1は奈良県(2.68)(34位)で、定点当たり報告数で全国平均(4.68)を下回っていた。一方、過去10年間で奈良県の方が上回っていたのは、H28(奈良県76.00,全国平均51.71)の1回のみ。

【図11-3】R1は①郡山(3.33)、②奈良市(3.11)、③吉野(3.00)、④中和(東)(2.00)、④中和(西)(2.00)、⑥内吉野(1.00)の順であった。また、同一保健所管内での過去5年間の推移では、6保健所管内ともH28が最多。一方、奈良市、郡山、中和(西)、吉野の4保健所でR1が最少となった(但し、吉野はH27、H30、R1が同数)。

【図11-4】最多の月は、10年平均が3月(2.71)で、R1は6月及び7月(共に0.38)であった。

【図11-5】10年平均では、1年を通して0.35(第3週)～0.63(第13週)の上下幅内での推移であった。一方、R1は、0～0.15(第24週)の上下幅内での推移であった。

【図11-6】4歳(18人)が最多。続いて、5歳、7歳(共に11人)。また、年齢階級別報告数は[10-14歳](17人)、[20-29歳](1人)であった。

(柳生 善彦 記)

# 眼科定点分

## 12.急性出血性結膜炎

図 12-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

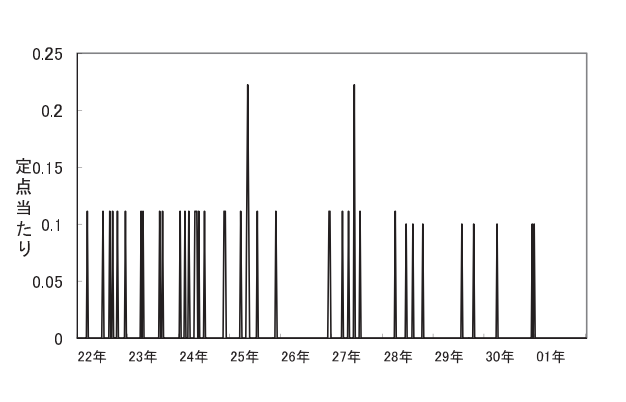



図 12-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

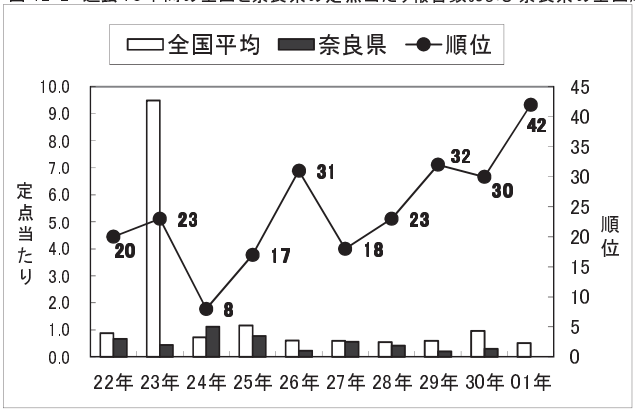



図 12-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

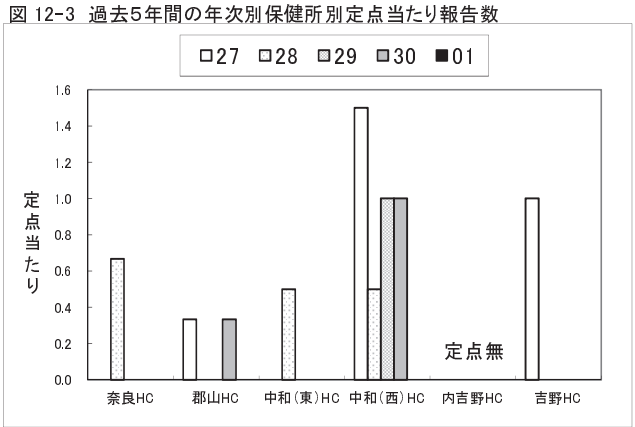



図 12-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

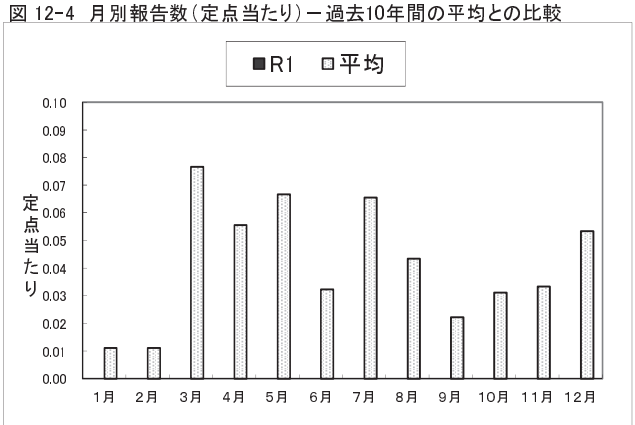



図 12-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

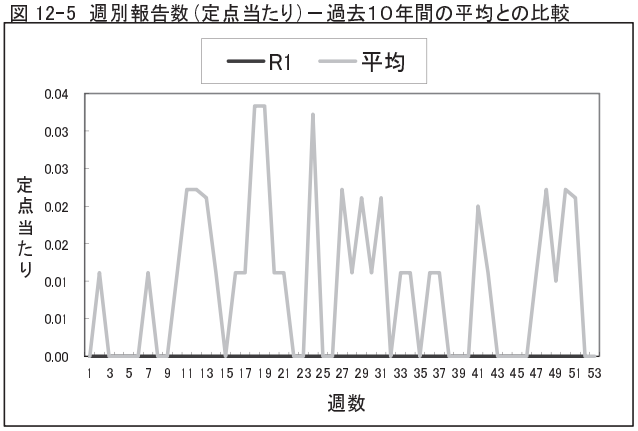
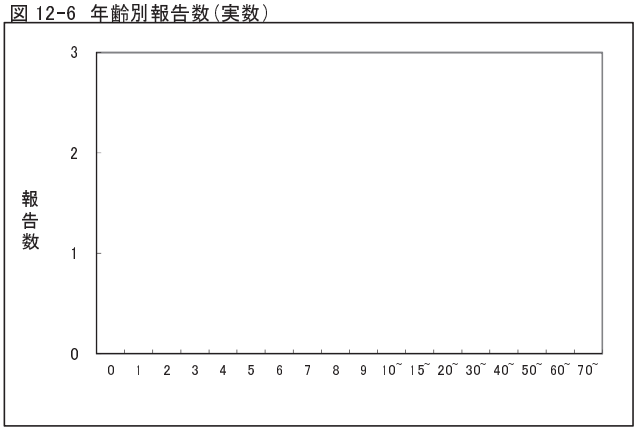



図 12-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

県内定点では報告はなかった。全国順位は42位であった。

(平井 宏明 記)

## 13.流行性角結膜炎

図 13-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

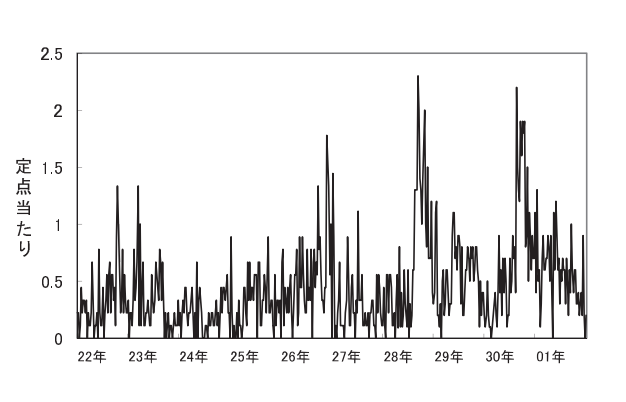



図 13-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

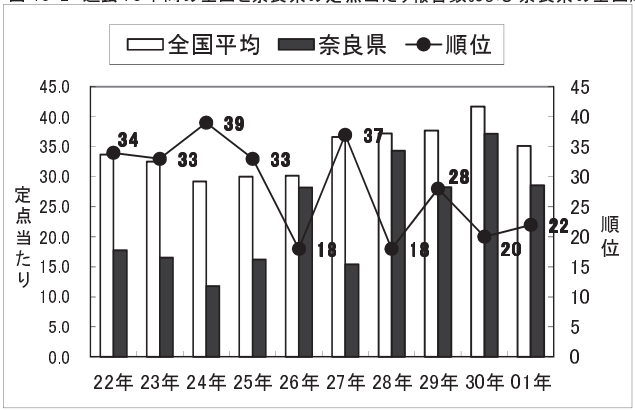



図 13-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

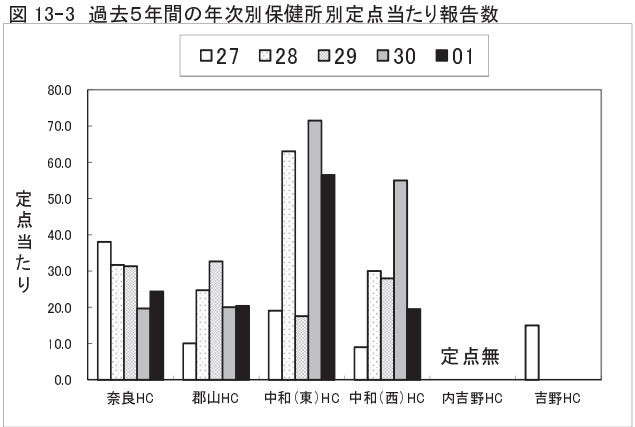



図 13-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

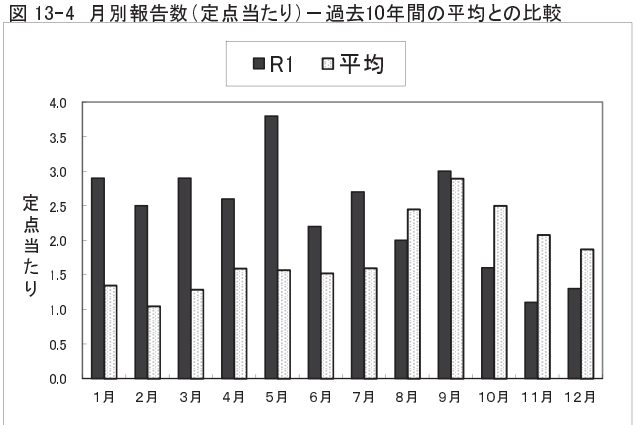



図 13-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

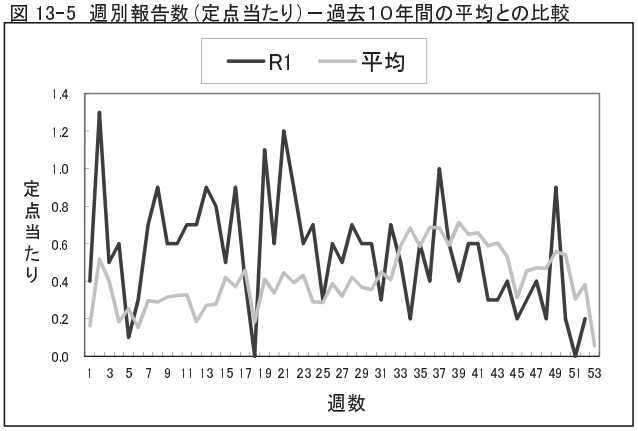
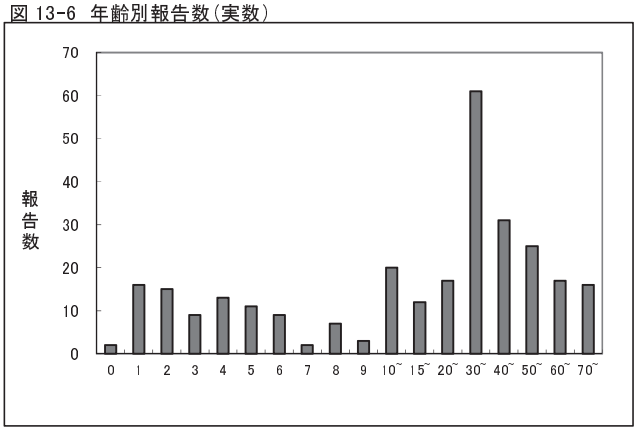



図 13-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

県内定点全体では286例の報告があった。前年の372例より減少し、定点あたりの報告数は、全国と比較すると、全国平均35.1より少ない28.6となった。順位は22位と昨年の20位より下がった。時期的には4回のピークがあり、1月、4月下旬から5月、9月、12月にピークがあり、ピークの山は徐々に低下した。定点あたりでは、中和東が他の倍と特に多く、その約1/2で奈良、郡山、中和西と続き、一方、吉野、内吉野では報告がなかった。年齢では30歳台が61例と21%を占め、40歳台31例50歳台25例と続き、成人の感染例が多いことが特徴的であった。小児では1,2,4,5歳が多かった。幼児からその両親、祖父母へと広がった可能性が示唆された。

(平井 宏明 記)

# 基幹定点分(週報)

## 14.細菌性髄膜炎

図 14-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

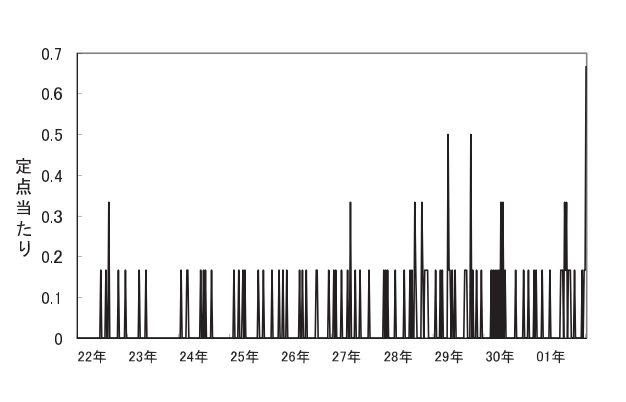



図 14-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

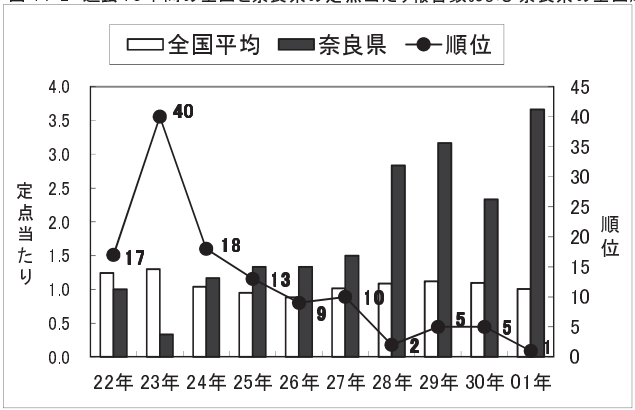



図 14-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

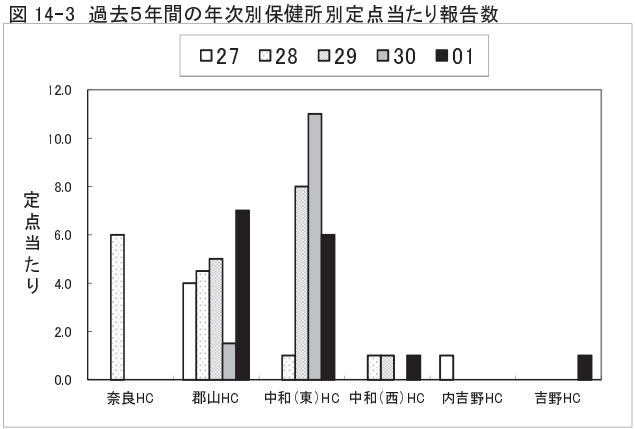



図 14-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

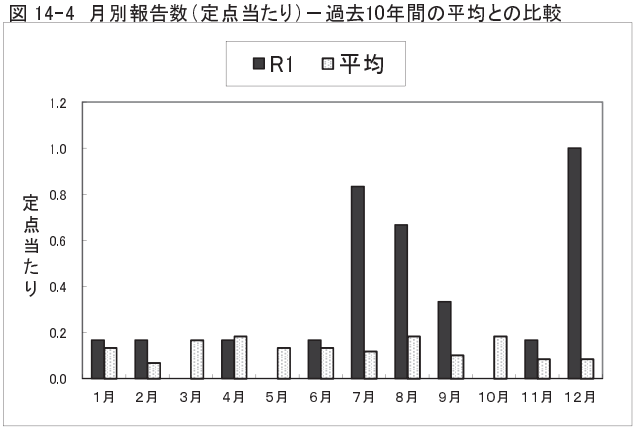



図 14-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

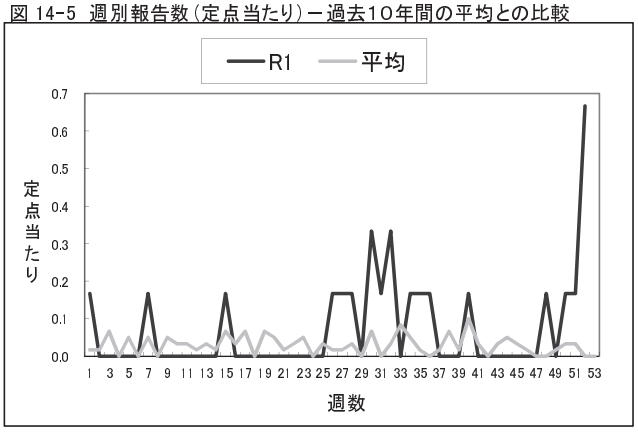
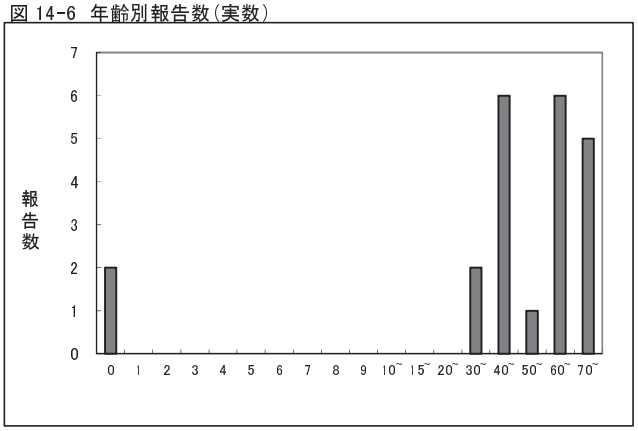



図 14-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年の全報告数は22例で、定点あたりの報告数は3.7であった。定点あたりの報告数は全国平均の1.0と比較して明らかに高い値である。奈良県はこれまでも報告数の多い県であったが、ここ4年はいずれも全国ワースト5位以内であり、令和元年は全国ワースト1となってしまった。月別に見ると、昨年は3～5月に多い傾向にあったが、令和元年は夏場に多く、昨年とは異なるパターンを示した。年齢別では、昨年は見られなかった0歳児からも報告されている。成人、特に高齢者の細菌性髄膜炎の頻度が高い傾向にあることは例年と変わりない。高齢者のワクチン接種状況や他県との接種率の差は不明だが、最も頻度の高い肺炎球菌へのワクチン接種の実施率上昇の余地がいまだ残されているのかもしれない。

（矢野　寿一　記）

## 15.無菌性髄膜炎

図 15-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

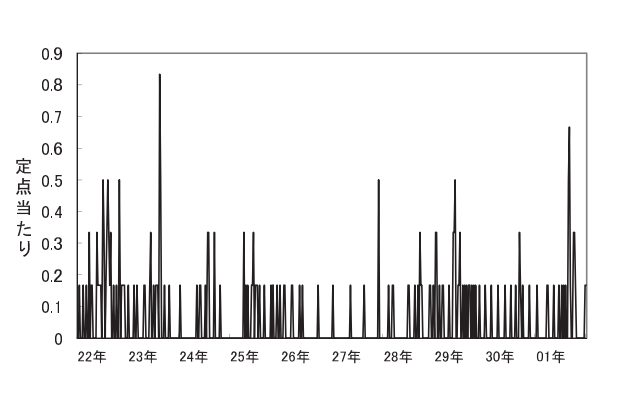



図 15-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

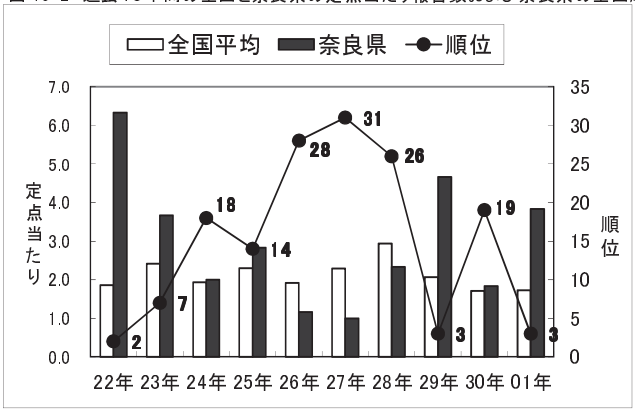



図 15-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

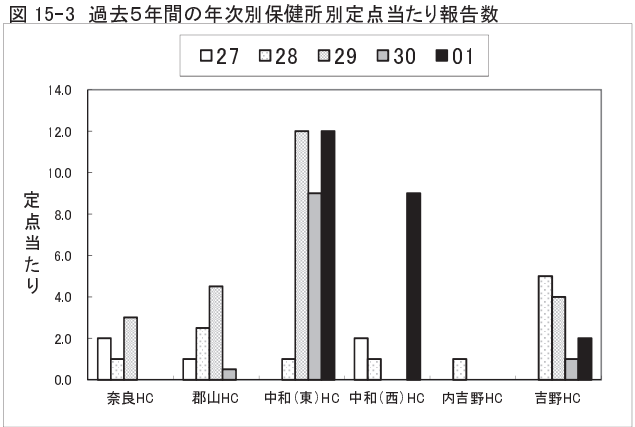



図 15-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

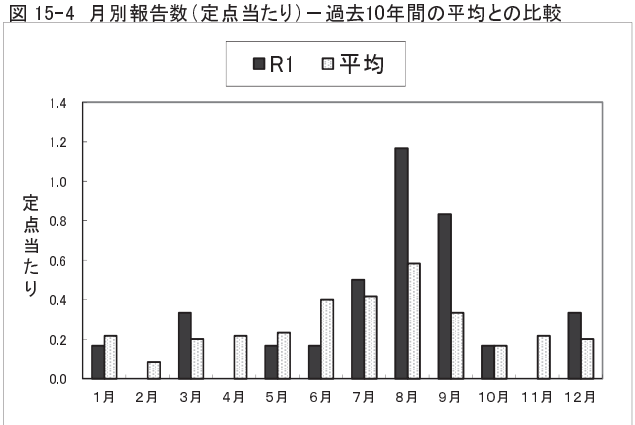



図 15-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

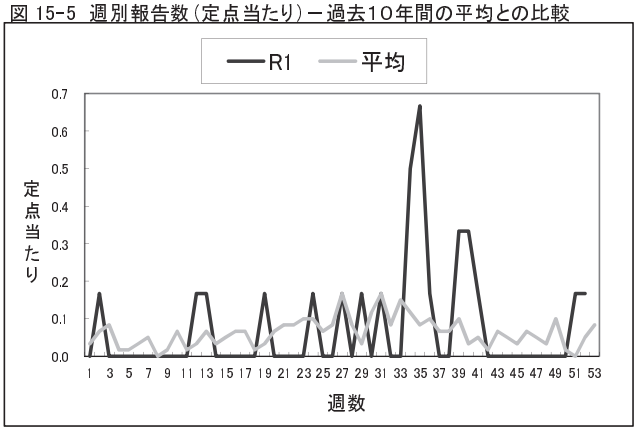
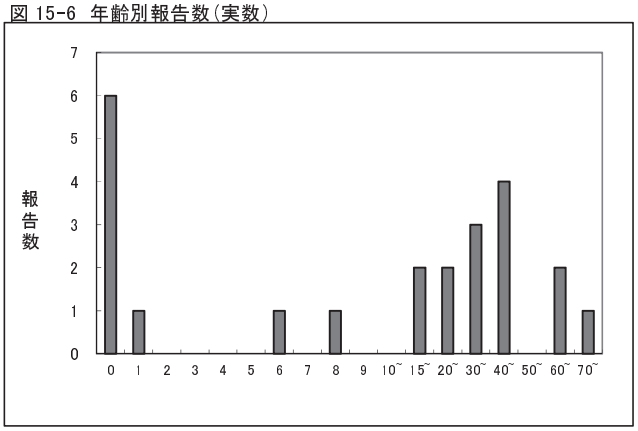



図 15-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年の全報告数は23例、定点あたりの報告数は3.8であった。平成30年は全報告数は11例、定点あたりの報告数は1.8で全国順位19位と平成29年に比べ大きく改善していたが、令和元年は全国順位ワースト3位と平成29年時に戻ってしまった。季節別にみると、昨年同様、夏季に報告数が多いことから、エンテロウイルス属であるコクサッキーウイルス、エコーウイルスなどによる無菌性髄膜炎と予測される。

(矢野 寿一 記)

## 16.マイコプラズマ肺炎

図 16-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

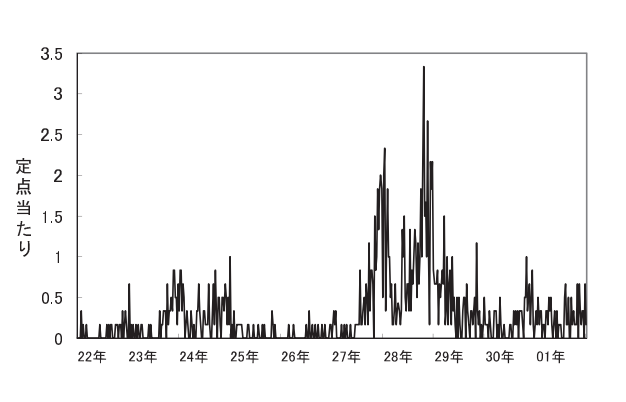



図 16-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

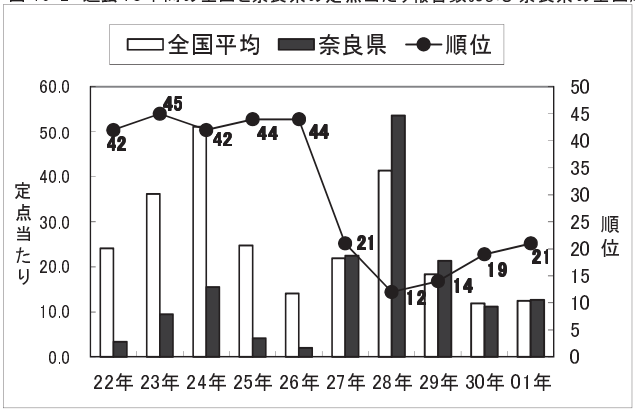



図 16-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

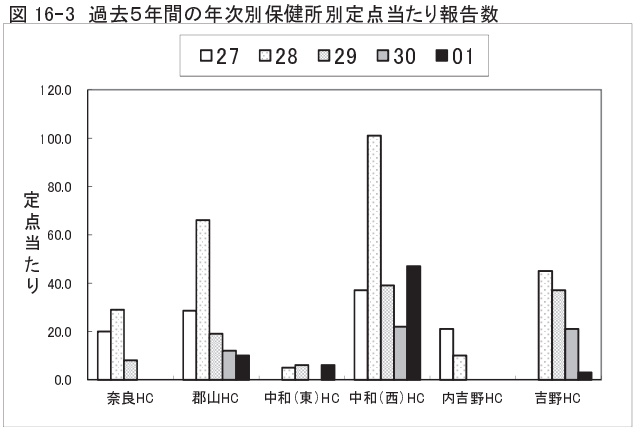



図 16-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

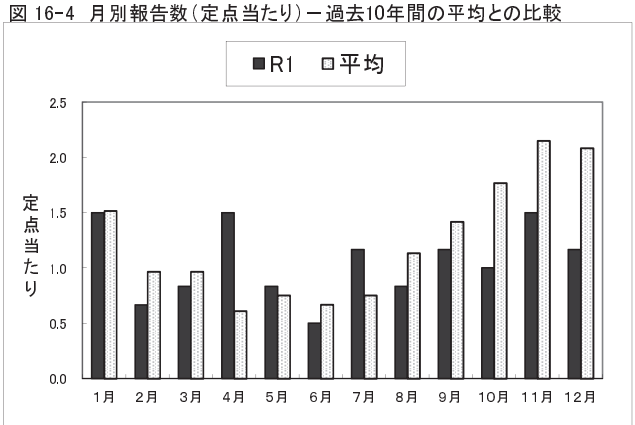



図 16-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

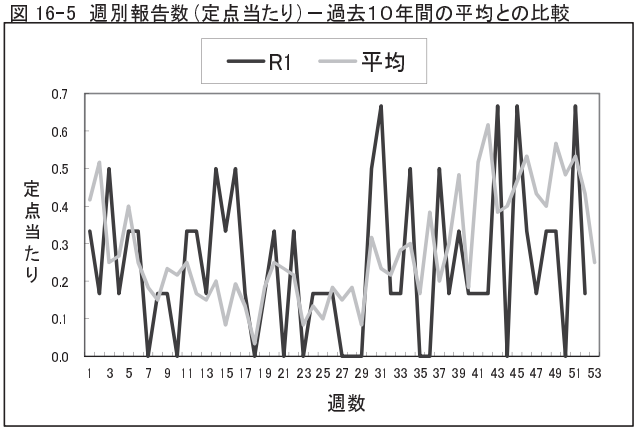
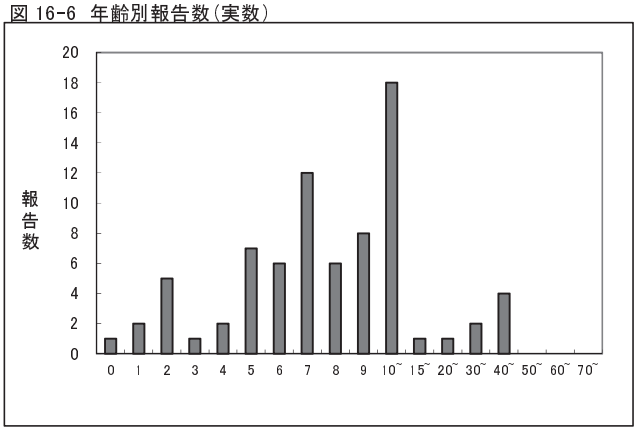



図 16-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年における全報告数は76例、定点あたりの報告数は12.7で、平成30年度とほぼ変わりないが、全国順位は19位から21位へと若干改善している。罹患年齢は学童期に多くみられたが、その傾向に大きな変化はない。マイコプラズマ肺炎は、28年に全国的な流行があったが、その後は大きな流行はみられていない。

(矢野 寿一 記)

## 17.クラミジア肺炎

図 17-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

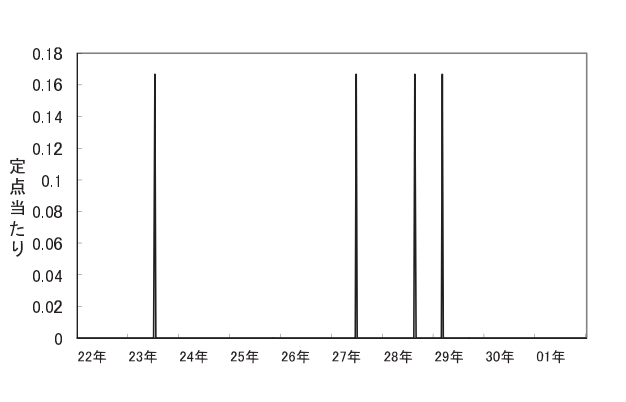



図 17-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

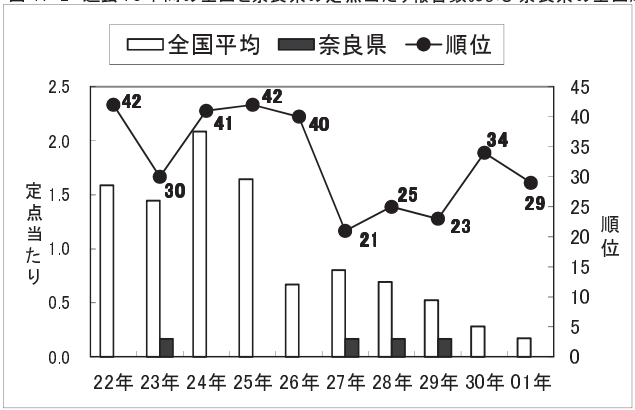



図 17-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

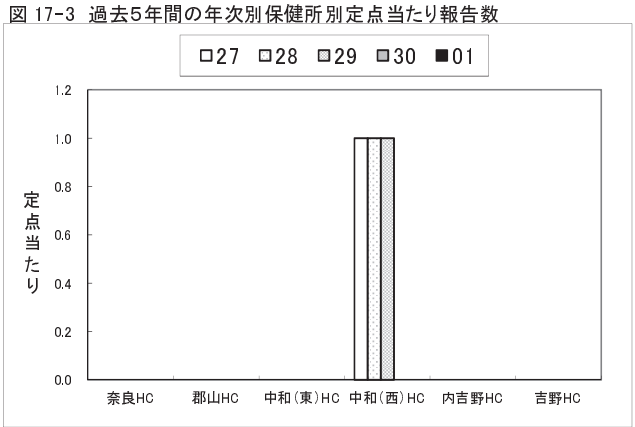



図 17-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

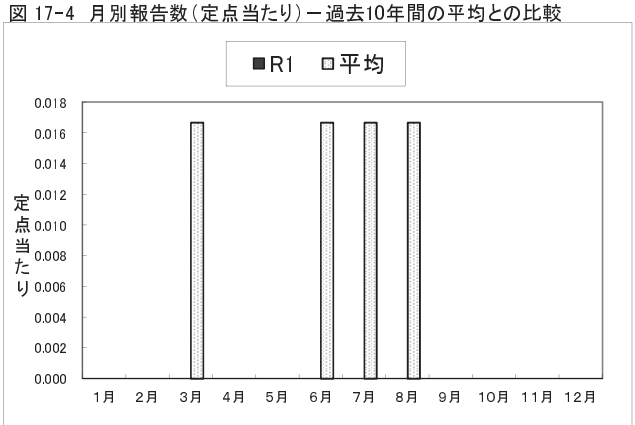



図 17-5 週別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

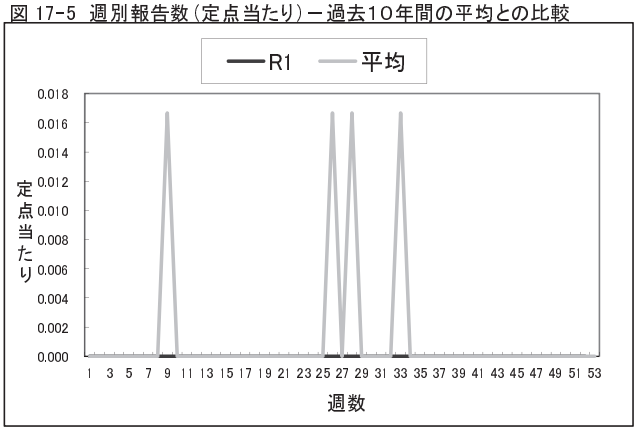
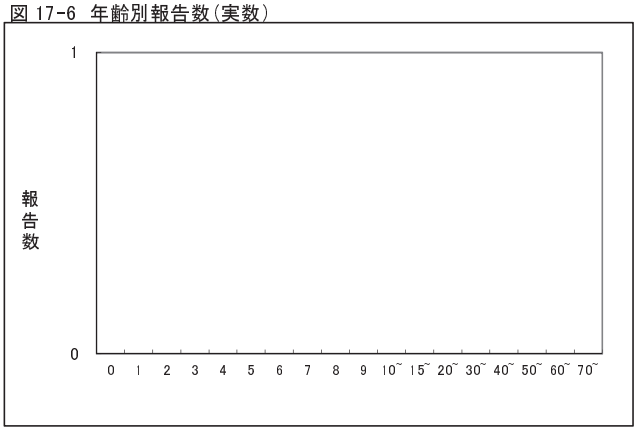



図 17-6 年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年は、クラミジア肺炎の報告は見られなかった。平成24～26年および平成30年も報告はない。診断が難しいこともあり、例年通り低値で推移していることに変わりはない。

(矢野 寿一 記)

## 18.感染性胃腸炎（ロタウイルス）

図 18-1 過去10年間の週別定点当たりの報告数の推移

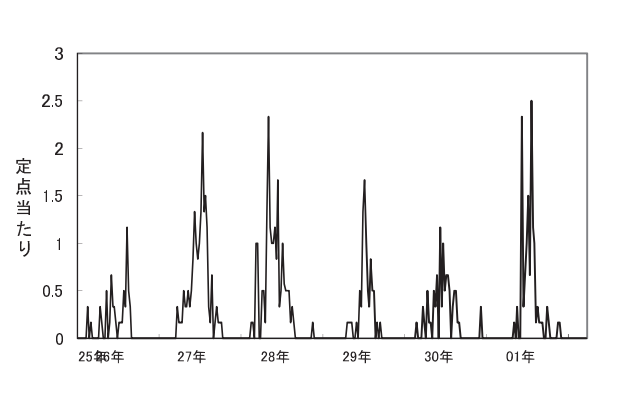



図 18-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数および奈良県の全国順位

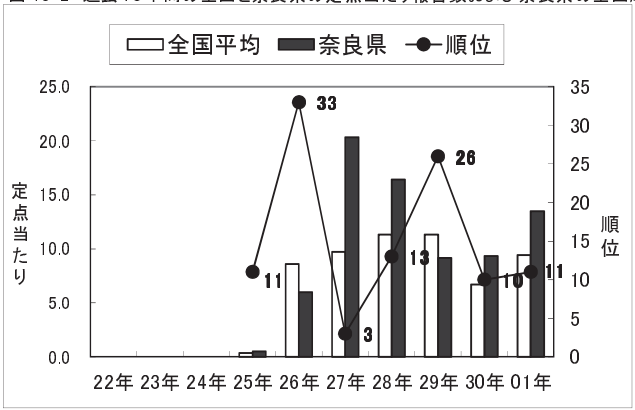



図 18-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

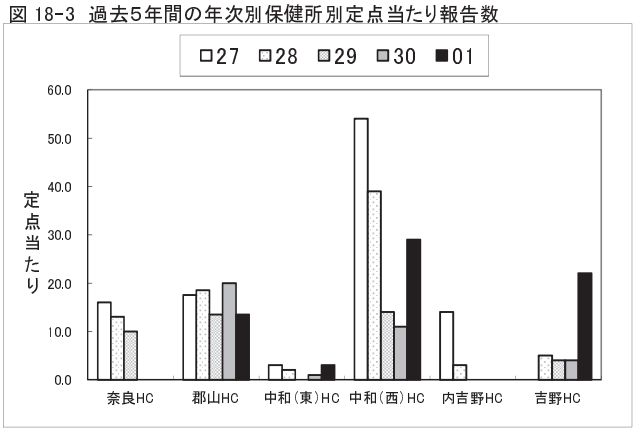



図 18-4 月別報告数（定点当たり）－過去10年間の平均との比較

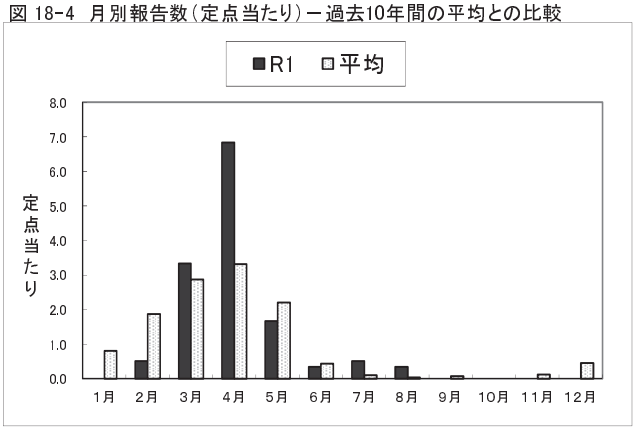



図 18-5 週別報告数（定点当たり）－過去10年間の平均との比較

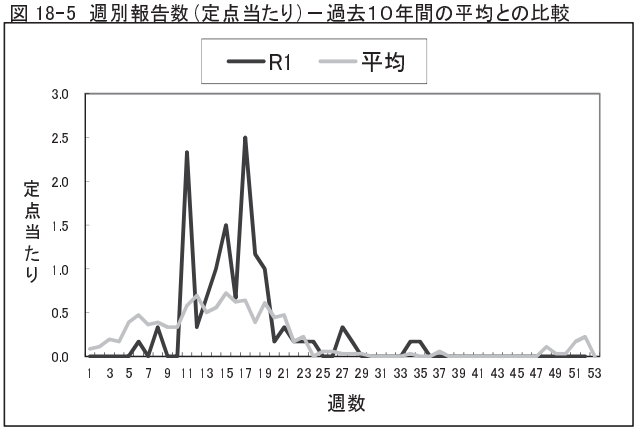
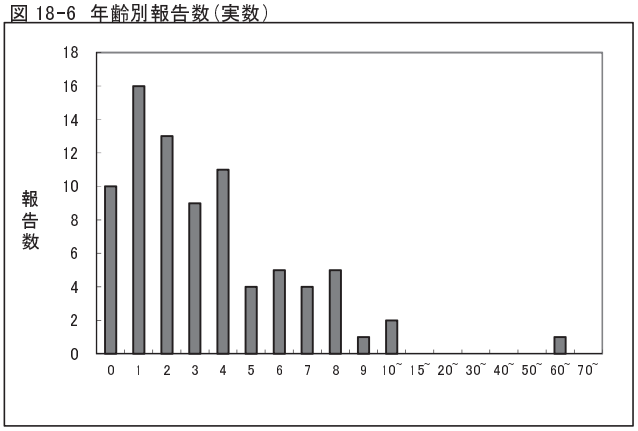



図 18-6 年齢別報告数（実数）




**コメント**

令和元年における全報告数は81件で、定点あたりの報告数は13.5であった。平成30年の全報告数は56件、定点あたりの報告数は9.3で大きな変化は見られず、全国順位もワースト10位からワースト11位とほぼ等しい順位であった。

感染性胃腸炎と診断された検体からは9種類のウイルスが検出され、A群ロタウイルスが最も多く（128株）1～5月まで検出され、ピークは3～4月であった。月別定点あたりの冬季の報告数の増加、4月のピークはA群ロタウイルスの検出状況とほぼ一致し、この時期の報告数増加へのロタウイルスの関与が示唆される。

ロタウイルスワクチンは2020年10月から定期接種化されることが決定しており、以後の接種率上昇が期待される。

（矢野　寿一　記）

# 性感染症(STD)定点分

## 19.性器クラミジア感染症

図 19-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

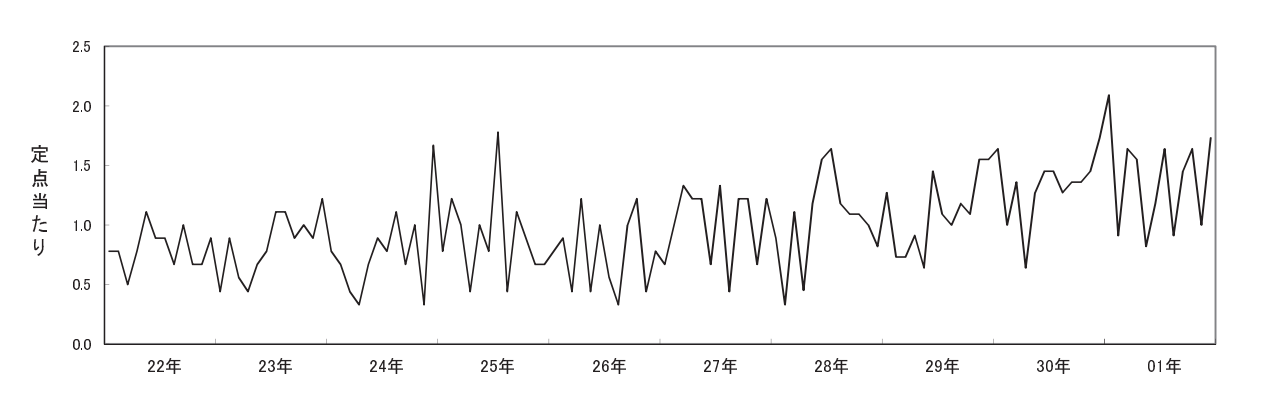



図 19-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

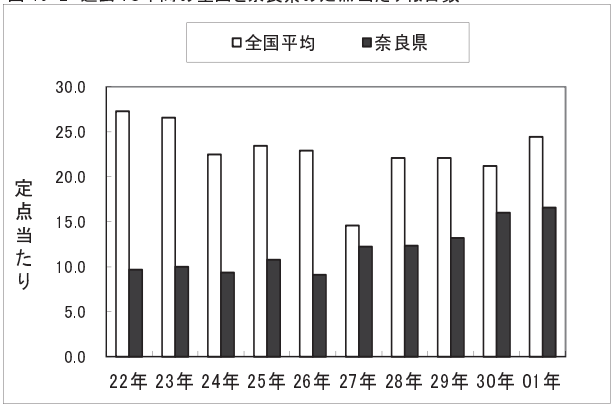



図 19-5　年齢別報告数（実数）

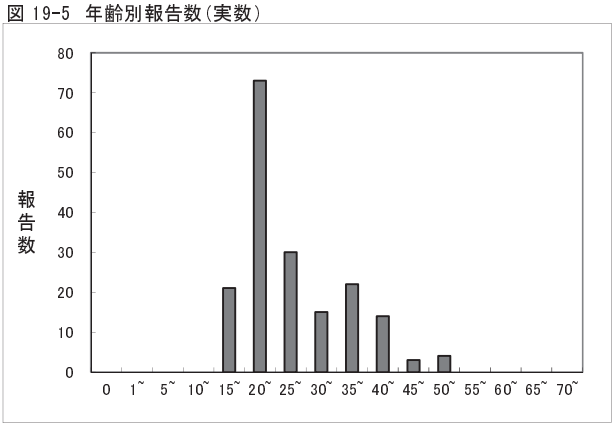



図 19-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

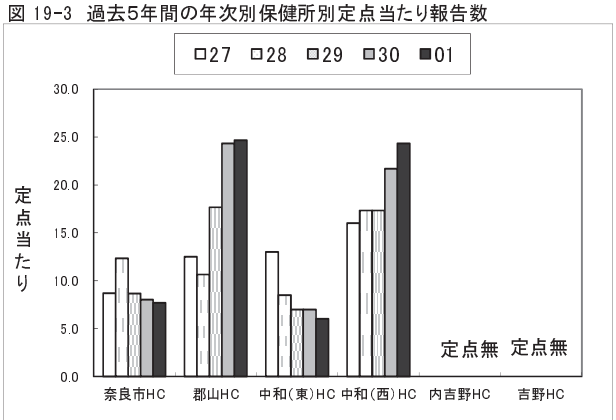
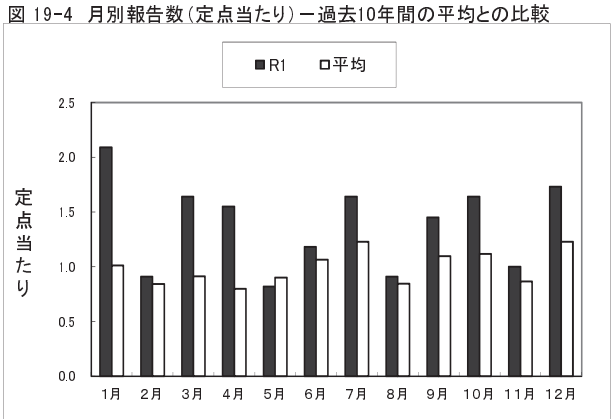



図 19-4　月別報告数（定点当たり）ー過去10年間の平均との比較




**コメント**

報告数は例年通り4疾患中で最多であった。全国の報告数は横ばい状態であるが、本県では右肩上がりの増加が維持され、全国平均に近づきつつある。保健所別では例年通り郡山保健所と中和（西）保健所管内が多い。月別では、今回は月によるばらつきが観察された。年齢別では、15-19歳の低年齢層も含め、50歳台まで全年齢層で報告がある。20-24歳が最多であることは変わりないが、昨年に比較して25-29歳の減少が著明で、20-24歳が群を抜いて多かった。昨年同様、55歳以上の高年齢層での報告がなかった。

（三馬　省二　記）

## 20.性器ヘルペスウイルス感染症

図 20-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

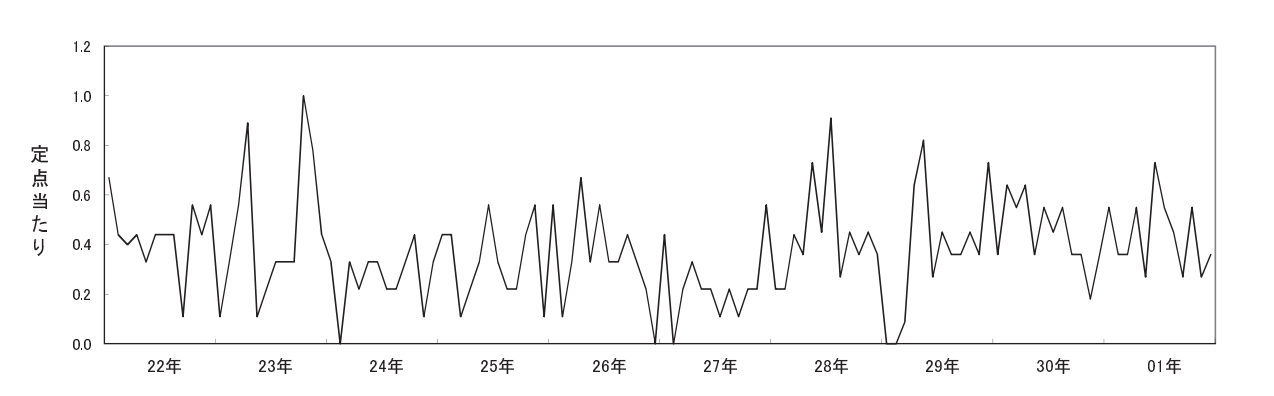



図 20-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

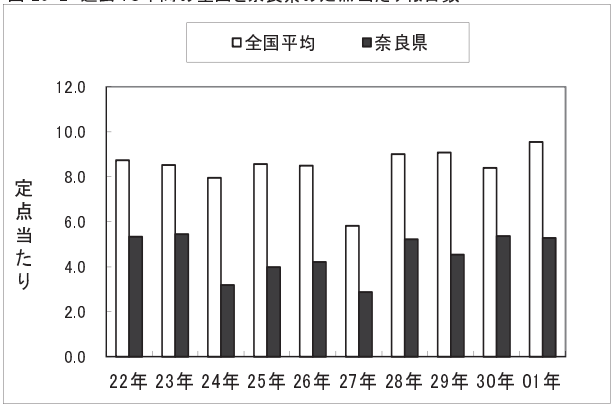



図 20-5　年齢別報告数（実数）

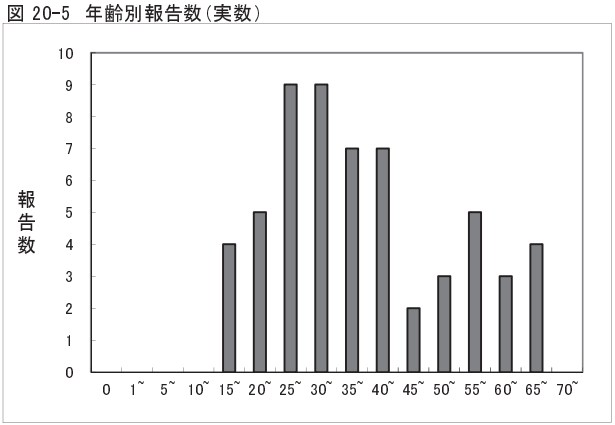



図 20-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

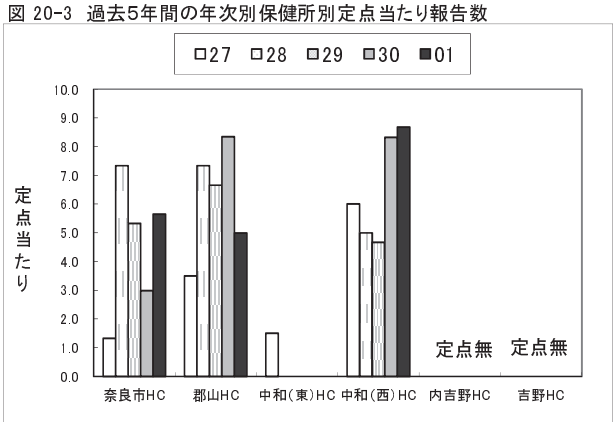
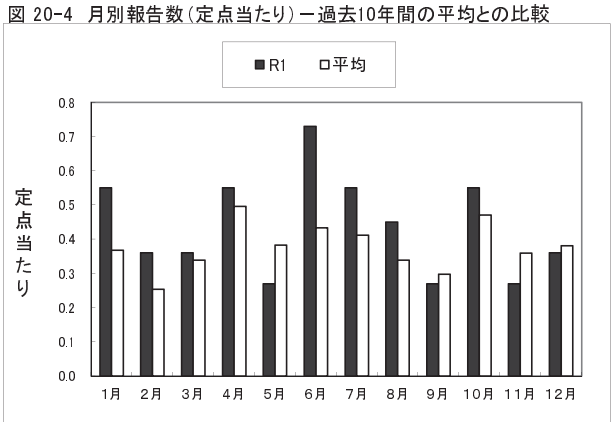



図 20-4　月別報告数（定点当たり）ー過去10年間の平均との比較




**コメント**

定点当たりの報告数は増加傾向にあるが、この4年はほぼ横ばい状態である。保健所別では、郡山保健所が減少し、昨年に続き中和(西)保健所管内が増加し、最多であった。月別ではあまり差がみられなかったが、夏場がやや多い傾向であった。年齢別にみると、今回は25-34歳が最多であった。例年に比較して、60歳以上の増加が注目される。

（三馬　省二　記）

## 21.尖圭コンジローマ

図 21-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

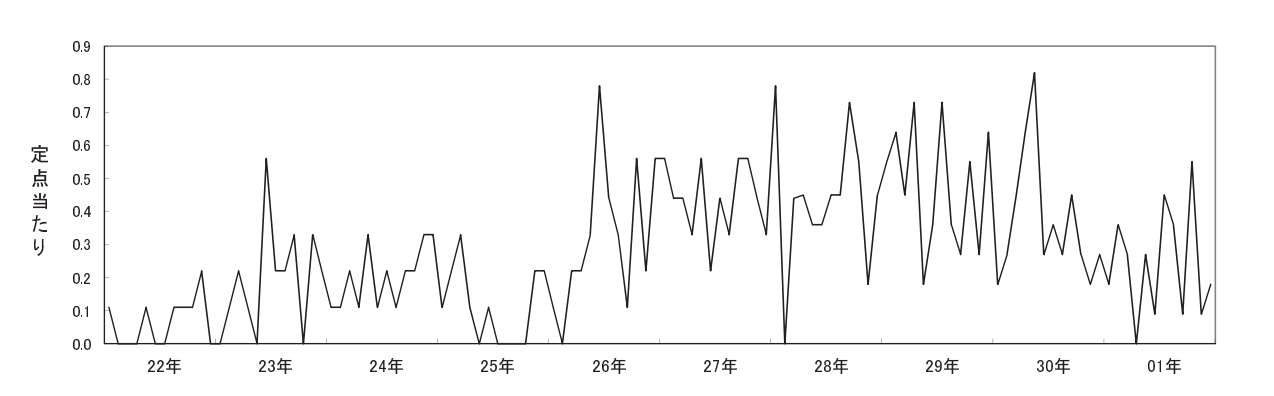



図 21-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

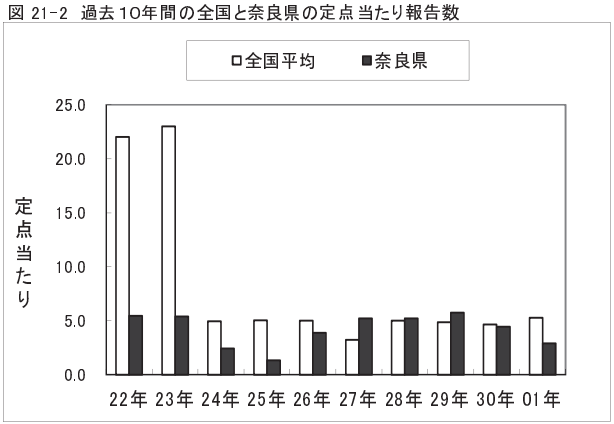



図 21-5　年齢別報告数（実数）

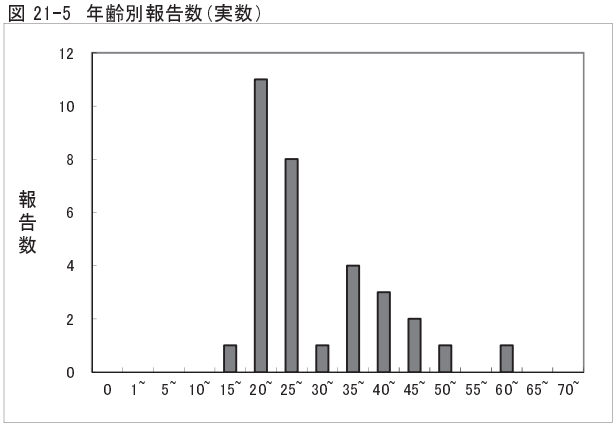



図 21-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

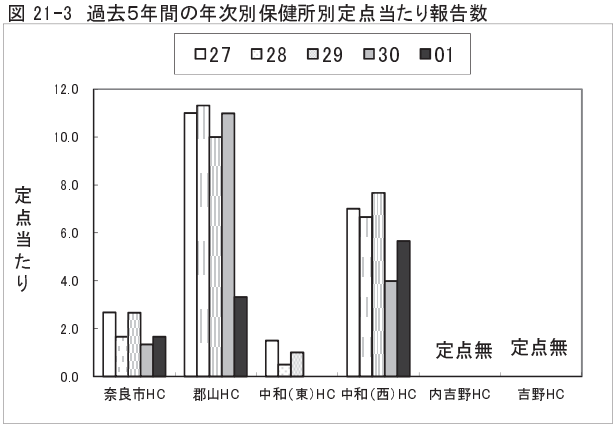
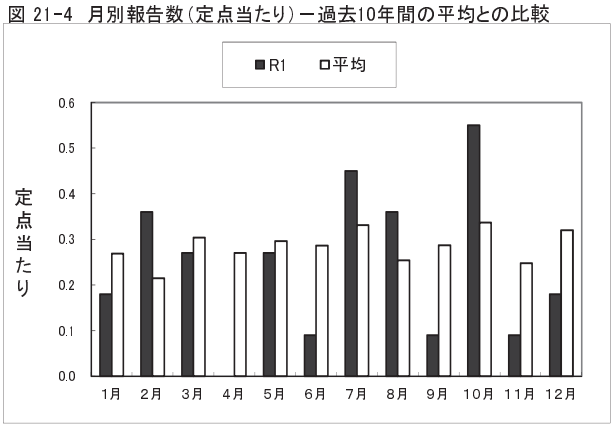



図 21-4　月別報告数（定点当たり）ー過去10年間の平均との比較




**コメント**

尖圭コンジローマは10年前に比較して、報告数の全国平均が著明に低下した疾患であるが、本県では10年前から大きな変化がないものの、全国平均に近い報告数がある。保健所別では、郡山保健所管内の報告が著明に減少し、中和（西）が最多となった。季節別では、例年は平均的であるが、今回は夏場の増加が著明であった。年齢別では、やはり20-30歳代が多いが、報告は少ないものの60歳以上の報告があった。

（三馬　省二　記）

## 22.淋菌感染症

図 22-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

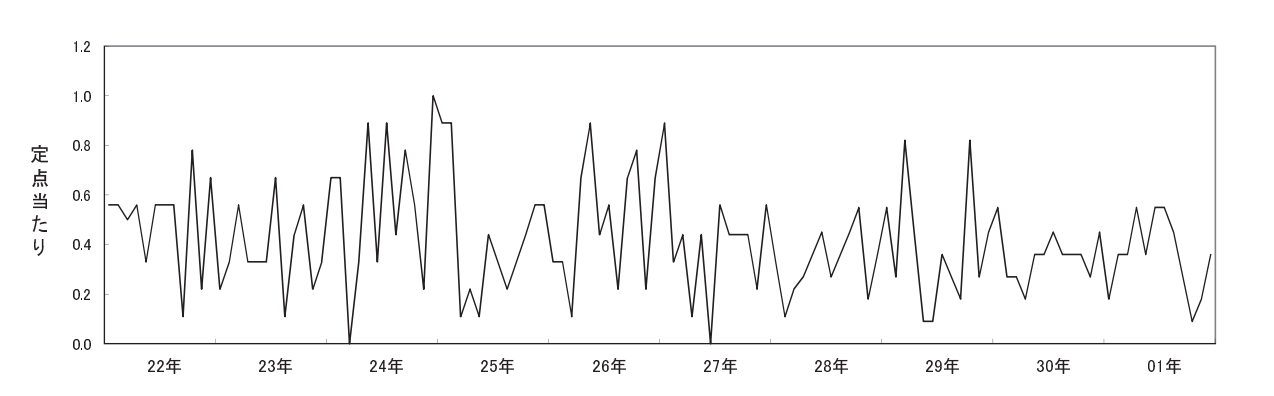



図 22-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

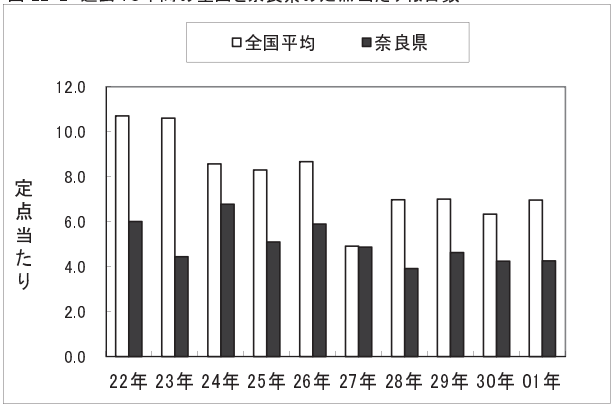



図 22-5　年齢別報告数（実数）

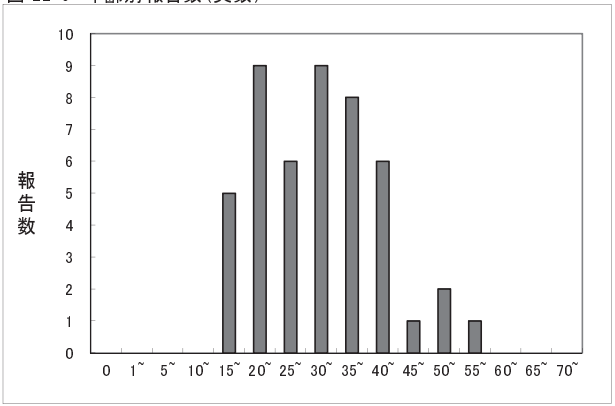



図 22-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

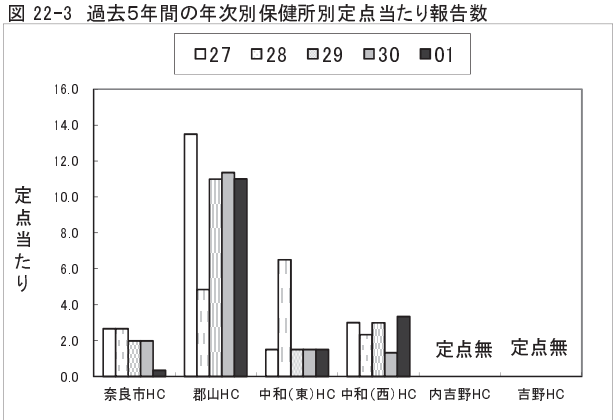
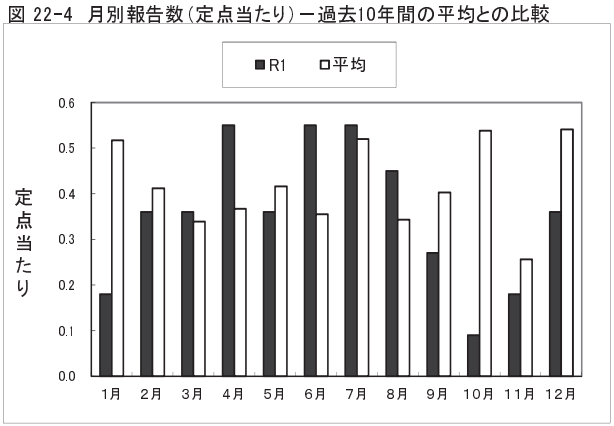



図 22-4　月別報告数（定点当たり）－過去10年間の平均との比較




**コメント**

淋菌感染症は4疾患では最も少ない疾患であり、例年報告数にあまり変化がない。保健所別では、例年通り郡山保健所管内が群を抜いて多い。月別では、今回は秋～冬が少なかったが、特に、1月及び10月の報告数の減少が特徴的であった。年齢別では、15歳の若年層から40歳代までが多く、今回は60歳以上での報告がなかった。

（三馬　省二　記）

# 基幹定点分(月報)

## 23.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

図 23-1 過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

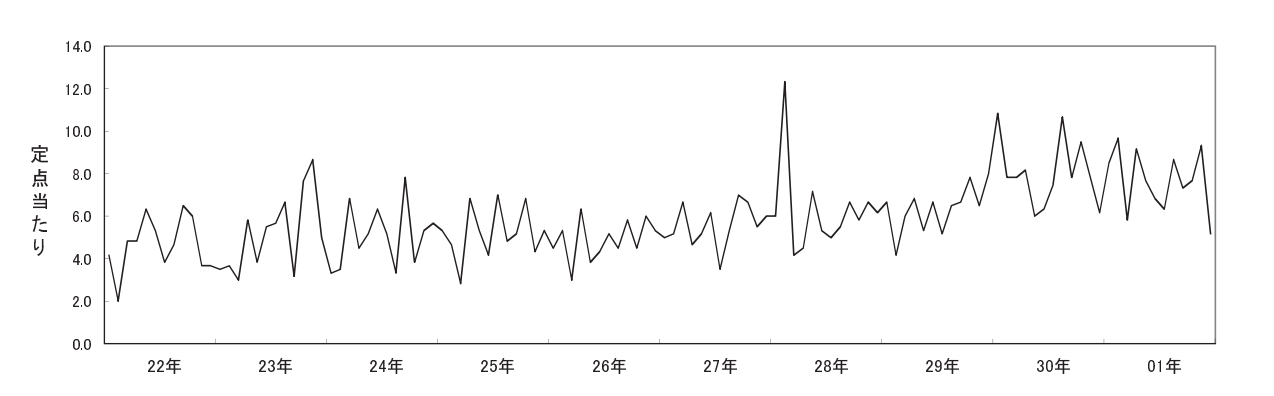



図 23-2 過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

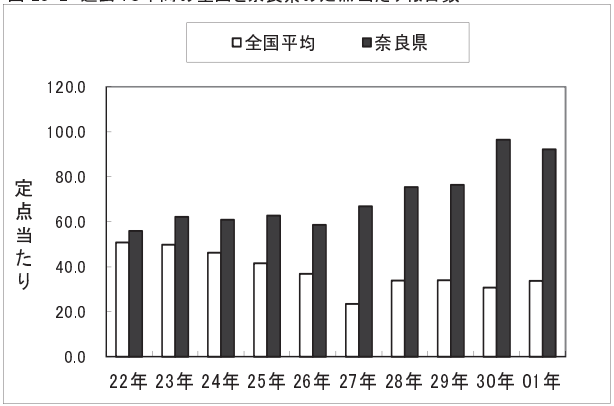



図 23-5 年齢別報告数(実数)

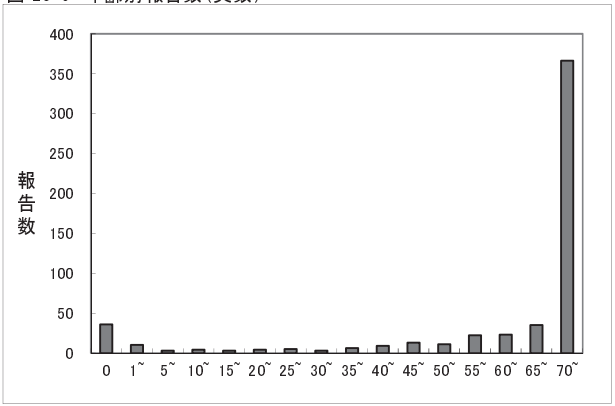



図 23-3 過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

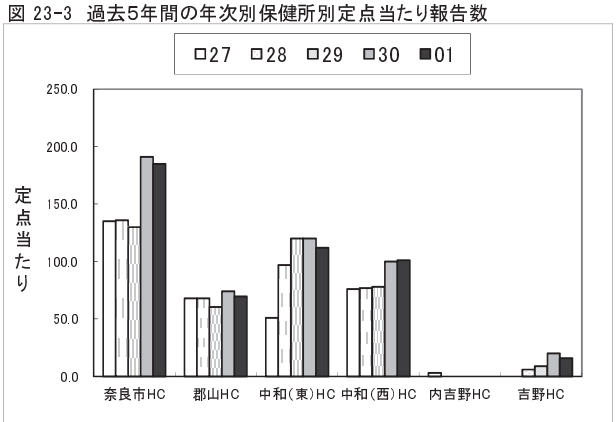
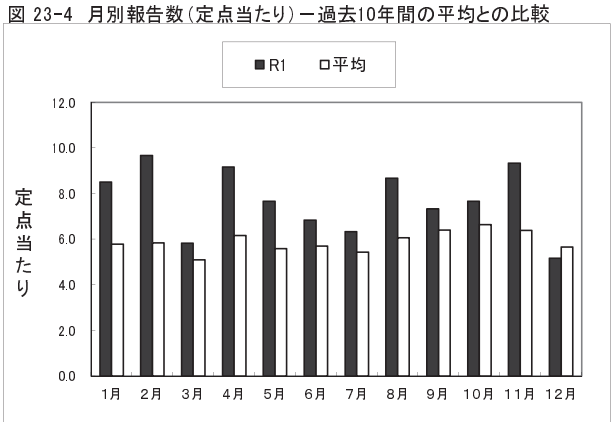



図 23-4 月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較




**コメント**

令和元年における報告数は553例で、定点あたりの報告数は92.2であり、平成30年の報告数579例、定点あたりの報告数96.5と比べると若干の減少は見られるが、令和元年も全国ワースト1位で、4年連続ワースト1位となってしまった。分離数に季節性は見られず、年齢も70歳以上からの分離率が極めて高い点は平成30年と同様であった。近年、全国的に市中感染型MRSAという耐性菌の報告が増えており、奈良県でも同様に市中感染型MRSAという耐性菌の報告が増えている。市中感染型MRSAは、従来の院内感染型MRSAに比べ病原性が高く伝播拡散しやすい性質があり、注意が必要である。近年、奈良県においても家族性で難治性の市中感染型MRSA感染症が報告されている。県内医療機関の医療関連感染対策のさらなる徹底が必要であろう。

（矢野　寿一　記）

## 24.ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

図 24-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

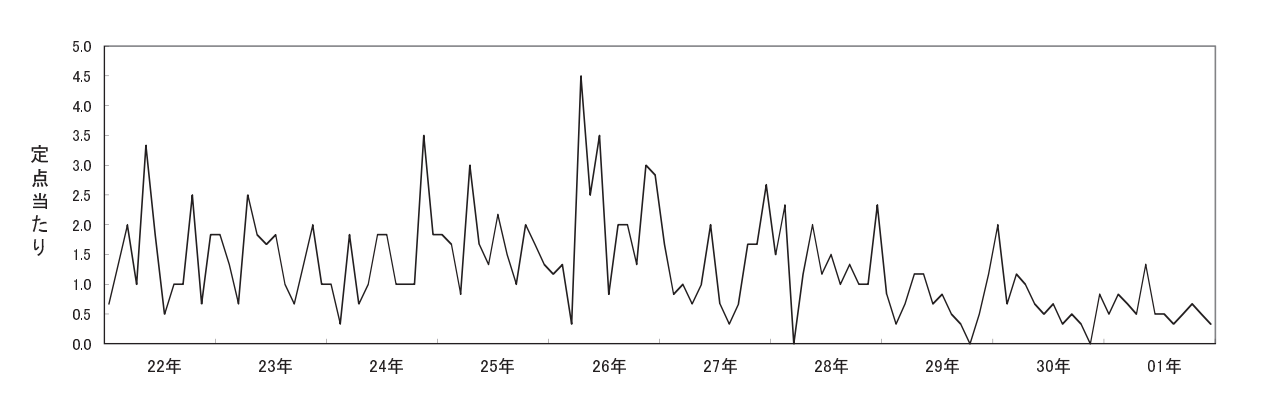



図 24-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

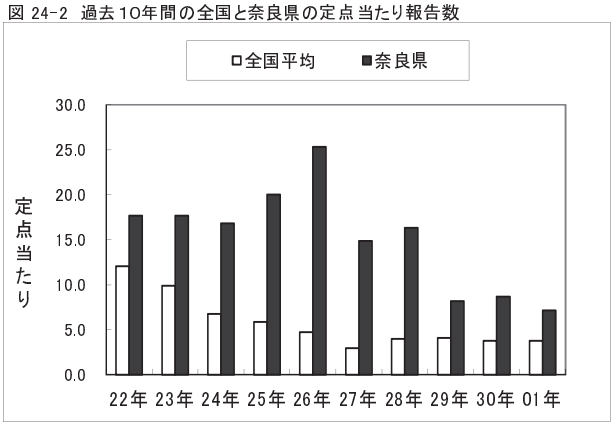



図 24-5　年齢別報告数（実数）

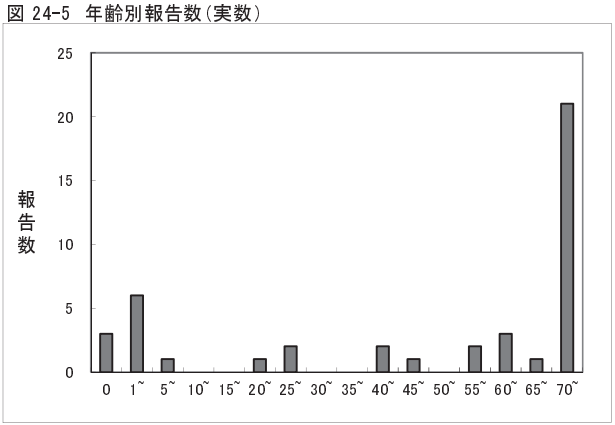



図 24-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

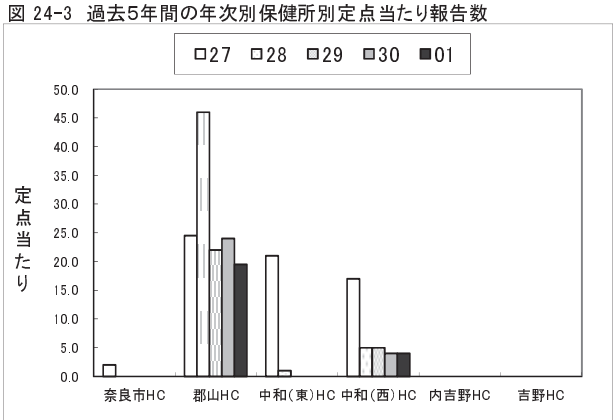
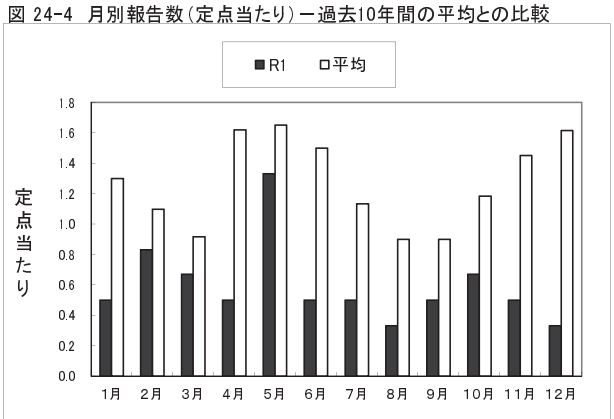



図 24-4　月別報告数（定点当たり）－過去10年間の平均との比較




**コメント**

令和元年における報告数は43例、定点あたりの報告数は7.16であった。平成29年、30年の報告数は49例、52例、定点当たり報告数は8.17、8.67とほぼ同様の数値であり、全国順位も平成29年から連続ワースト7位であり、悪い順位で維持されている。年齢別報告数は70歳以上がほとんどを占めている。ワクチンがカバーしている肺炎球菌血清型は多くの耐性肺炎球菌が含まれており、ワクチン接種が耐性肺炎球菌分離率を下げることが知られている。奈良県におけるワクチン接種率は定かでないが、全国と比べてそれが低いことが示唆され（特に高齢者）、接種率増加を期待したい。

（矢野　寿一　記）

## 25.薬剤耐性緑膿菌感染症

図 25-1　過去10年間の月別定点当たりの報告数の推移

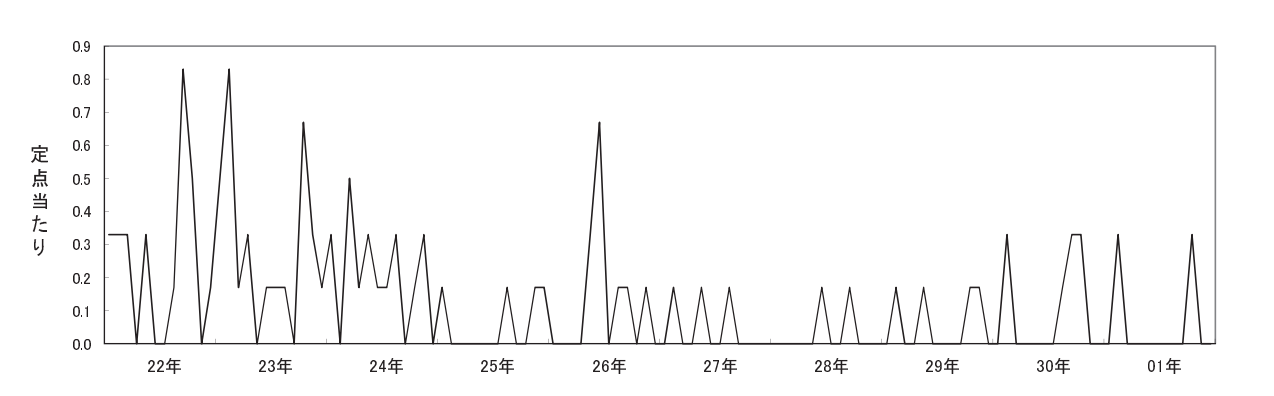



図 25-2　過去10年間の全国と奈良県の定点当たり報告数

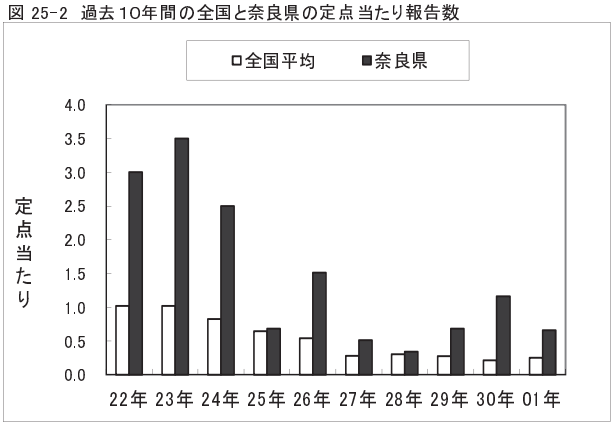



図 25-3　過去5年間の年次別保健所別定点当たり報告数

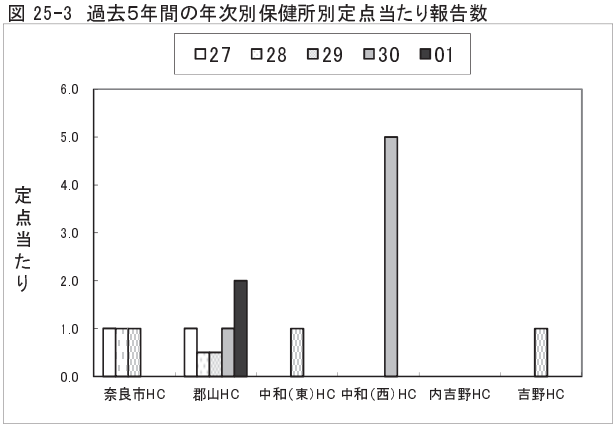



図 25-4　月別報告数(定点当たり)ー過去10年間の平均との比較

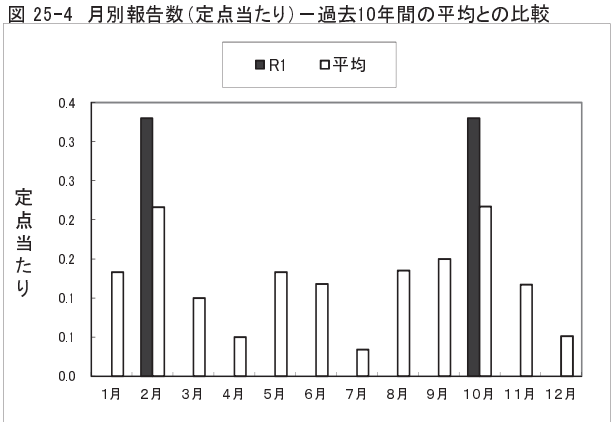
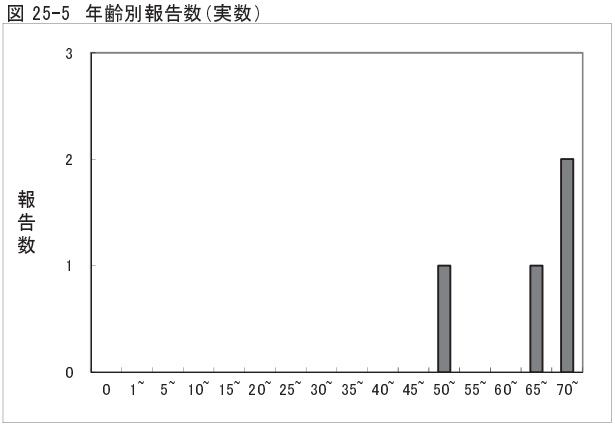



図 25-5　年齢別報告数(実数)




**コメント**

令和元年の全報告数は4例で、定点あたりの報告数は0.66であった。平成30年の全報告数は7例、定点あたりの報告数1.16であり全国順位もワースト1位であった。数値的には令和元年は若干改善しているように見えるが、全国順位はワースト3位であり、悪いところで維持されているようである。薬剤耐性緑膿菌の減少には感染対策が重要となる菌であり、MRSAも4年連続全国ワースト1位であることを考慮すると、各医療機関における徹底した標準予防策の遵守が強く望まれる。

（矢野　寿一　記）

表1　疾患別・月別報告数

報告実数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 8,463 | 2,162 | 429 | 328 | 87 | 22 | 9 | 5 | 73 | 58 | 269 | 2,059 | 13,964 |
| RSウイルス感染症 | 57 | 80 | 128 | 83 | 50 | 11 | 63 | 218 | 778 | 340 | 105 | 104 | 2,017 |
| 咽頭結膜熱 | 49 | 75 | 46 | 72 | 85 | 107 | 98 | 60 | 59 | 58 | 37 | 71 | 817 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 252 | 258 | 255 | 357 | 304 | 289 | 235 | 151 | 202 | 190 | 213 | 280 | 2,986 |
| 感染症胃腸炎 | 1,109 | 835 | 779 | 1,278 | 818 | 614 | 586 | 338 | 530 | 441 | 659 | 1,181 | 9,168 |
| 水痘 | 48 | 35 | 35 | 25 | 32 | 77 | 41 | 12 | 25 | 10 | 24 | 47 | 411 |
| 手足口病 | 28 | 33 | 31 | 43 | 216 | 889 | 1,343 | 261 | 164 | 88 | 71 | 58 | 3,225 |
| 伝染性紅斑 | 23 | 8 | 22 | 34 | 40 | 99 | 134 | 75 | 73 | 83 | 131 | 144 | 866 |
| 突発性発しん | 50 | 40 | 44 | 48 | 67 | 72 | 81 | 56 | 67 | 46 | 41 | 51 | 663 |
| ヘルパンギーナ | 5 | 2 | 2 | 4 | 27 | 156 | 349 | 177 | 91 | 10 | 11 | 8 | 842 |
| 流行性耳下腺炎 | 6 | 5 | 4 | 6 | 9 | 13 | 13 | 8 | 11 | 5 | 4 | 7 | 91 |
| 計 | 1,627 | 1,371 | 1,346 | 1,950 | 1,648 | 2,327 | 2,943 | 1,356 | 2,000 | 1,271 | 1,296 | 1,951 | 21,086 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 29 | 25 | 29 | 26 | 38 | 22 | 27 | 20 | 30 | 16 | 11 | 13 | 286 |
| 計 | 29 | 25 | 29 | 26 | 38 | 22 | 27 | 20 | 30 | 16 | 11 | 13 | 286 |
| 細菌性髄膜炎 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 5 | 4 | 2 | 0 | 1 | 6 | 22 |
| 無菌性髄膜炎 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 3 | 7 | 5 | 1 | 0 | 2 | 23 |
| マイコプラズマ肺炎 | 9 | 4 | 5 | 9 | 5 | 3 | 7 | 5 | 7 | 6 | 9 | 7 | 76 |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | 0 | 3 | 20 | 41 | 10 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81 |
| 計 | 11 | 8 | 27 | 51 | 16 | 7 | 18 | 18 | 14 | 7 | 10 | 15 | 202 |
| 性器クラミジア感染症 | 23 | 10 | 18 | 17 | 9 | 13 | 18 | 10 | 16 | 18 | 11 | 19 | 182 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 6 | 4 | 4 | 6 | 3 | 8 | 6 | 5 | 3 | 6 | 3 | 4 | 58 |
| 尖圭コンジローマ | 2 | 4 | 3 | 0 | 3 | 1 | 5 | 4 | 1 | 6 | 1 | 2 | 32 |
| 淋菌感染症 | 2 | 4 | 4 | 6 | 4 | 6 | 6 | 5 | 3 | 1 | 2 | 4 | 47 |
| 計 | 33 | 22 | 29 | 29 | 19 | 28 | 35 | 24 | 23 | 31 | 17 | 29 | 319 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 51 | 58 | 35 | 55 | 46 | 41 | 38 | 52 | 44 | 46 | 56 | 31 | 553 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 3 | 5 | 4 | 3 | 8 | 3 | 3 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 43 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 54 | 65 | 39 | 58 | 54 | 44 | 41 | 54 | 47 | 52 | 59 | 33 | 600 |

定点当たり報告数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 153.87 | 39.31 | 7.80 | 5.96 | 1.58 | 0.40 | 0.16 | 0.09 | 1.33 | 1.05 | 4.89 | 37.44 | 253.89 |
| RSウイルス感染症 | 1.68 | 2.35 | 3.76 | 2.44 | 1.47 | 0.32 | 1.85 | 6.41 | 22.88 | 10.00 | 3.09 | 3.06 | 59.32 |
| 咽頭結膜熱 | 1.44 | 2.21 | 1.35 | 2.12 | 2.50 | 3.15 | 2.88 | 1.76 | 1.74 | 1.71 | 1.09 | 2.09 | 24.03 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 7.41 | 7.59 | 7.50 | 10.50 | 8.94 | 8.50 | 6.91 | 4.44 | 5.94 | 5.59 | 6.26 | 8.24 | 87.82 |
| 感染症胃腸炎 | 32.62 | 24.56 | 22.91 | 37.59 | 24.06 | 18.06 | 17.24 | 9.94 | 15.59 | 12.97 | 19.38 | 34.74 | 269.65 |
| 水痘 | 1.41 | 1.03 | 1.03 | 0.74 | 0.94 | 2.26 | 1.21 | 0.35 | 0.74 | 0.29 | 0.71 | 1.38 | 12.09 |
| 手足口病 | 0.82 | 0.97 | 0.91 | 1.26 | 6.35 | 26.15 | 39.50 | 7.68 | 4.82 | 2.59 | 2.09 | 1.71 | 94.85 |
| 伝染性紅斑 | 0.68 | 0.24 | 0.65 | 1.00 | 1.18 | 2.91 | 3.94 | 2.21 | 2.15 | 2.44 | 3.85 | 4.24 | 25.47 |
| 突発性発しん | 1.47 | 1.18 | 1.29 | 1.41 | 1.97 | 2.12 | 2.38 | 1.65 | 1.97 | 1.35 | 1.21 | 1.50 | 19.50 |
| ヘルパンギーナ | 0.15 | 0.06 | 0.06 | 0.12 | 0.79 | 4.59 | 10.26 | 5.21 | 2.68 | 0.29 | 0.32 | 0.24 | 24.76 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.18 | 0.15 | 0.12 | 0.18 | 0.26 | 0.38 | 0.38 | 0.24 | 0.32 | 0.15 | 0.12 | 0.21 | 2.68 |
| 計 | 47.85 | 40.32 | 39.59 | 57.35 | 48.47 | 68.44 | 86.56 | 39.88 | 58.82 | 37.38 | 38.12 | 57.38 | 620.18 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 2.90 | 2.50 | 2.90 | 2.60 | 3.80 | 2.20 | 2.70 | 2.00 | 3.00 | 1.60 | 1.10 | 1.30 | 28.60 |
| 計 | 2.90 | 2.50 | 2.90 | 2.60 | 3.80 | 2.20 | 2.70 | 2.00 | 3.00 | 1.60 | 1.10 | 1.30 | 28.60 |
| 細菌性髄膜炎 | 0.17 | 0.17 | 0.00 | 0.17 | 0.00 | 0.17 | 0.83 | 0.67 | 0.33 | 0.00 | 0.17 | 1.00 | 3.67 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.17 | 0.00 | 0.33 | 0.00 | 0.17 | 0.17 | 0.50 | 1.17 | 0.83 | 0.17 | 0.00 | 0.33 | 3.83 |
| マイコプラズマ肺炎 | 1.50 | 0.67 | 0.83 | 1.50 | 0.83 | 0.50 | 1.17 | 0.83 | 1.17 | 1.00 | 1.50 | 1.17 | 12.67 |
| クラミジア肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | 0.00 | 0.50 | 3.33 | 6.83 | 1.67 | 0.33 | 0.50 | 0.33 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 13.50 |
| 計 | 1.83 | 1.33 | 4.50 | 8.50 | 2.67 | 1.17 | 3.00 | 3.00 | 2.33 | 1.17 | 1.67 | 2.50 | 33.67 |
| 性器クラミジア感染症 | 2.09 | 0.91 | 1.64 | 1.55 | 0.82 | 1.18 | 1.64 | 0.91 | 1.45 | 1.64 | 1.00 | 1.73 | 16.55 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 0.55 | 0.36 | 0.36 | 0.55 | 0.27 | 0.73 | 0.55 | 0.45 | 0.27 | 0.55 | 0.27 | 0.36 | 5.27 |
| 尖圭コンジローマ | 0.18 | 0.36 | 0.27 | 0.00 | 0.27 | 0.09 | 0.45 | 0.36 | 0.09 | 0.55 | 0.09 | 0.18 | 2.91 |
| 淋菌感染症 | 0.18 | 0.36 | 0.36 | 0.55 | 0.36 | 0.55 | 0.55 | 0.45 | 0.27 | 0.09 | 0.18 | 0.36 | 4.27 |
| 計 | 3.00 | 2.00 | 2.64 | 2.64 | 1.73 | 2.55 | 3.18 | 2.18 | 2.09 | 2.82 | 1.55 | 2.64 | 29.00 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 8.50 | 9.67 | 5.83 | 9.17 | 7.67 | 6.83 | 6.33 | 8.67 | 7.33 | 7.67 | 9.33 | 5.17 | 92.17 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0.50 | 0.83 | 0.67 | 0.50 | 1.33 | 0.50 | 0.50 | 0.33 | 0.50 | 0.67 | 0.50 | 0.33 | 7.17 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.00 | 0.33 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.33 | 0.00 | 0.00 | 0.67 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 9.00 | 10.83 | 6.50 | 9.67 | 9.00 | 7.33 | 6.83 | 9.00 | 7.83 | 8.67 | 9.83 | 5.50 | 100.00 |

表2-1　疾患別・年齢別報告数

| 年齢 | 0-6M | 7-12M | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80- | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 54 | 172 | 536 | 540 | 623 | 815 | 780 | 806 | 810 | 698 | 615 | 2,088 | 685 | 772 | 934 | 1,060 | 763 | 608 | 363 | 242 | 13,964 |
| RSウイルス感染症 | 160 | 336 | 741 | 383 | 231 | 97 | 44 | 18 | 5 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | | | | | | | 2,017 |
| 咽頭結膜熱 | 1 | 71 | 235 | 139 | 101 | 94 | 58 | 47 | 22 | 10 | 9 | 11 | 2 | 17 | | | | | | | 817 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 1 | 21 | 149 | 208 | 370 | 432 | 394 | 367 | 278 | 217 | 176 | 268 | 11 | 94 | | | | | | | 2,986 |
| 感染症胃腸炎 | 69 | 582 | 1,410 | 1,082 | 890 | 868 | 729 | 560 | 453 | 324 | 274 | 623 | 208 | 1,096 | | | | | | | 9,168 |
| 水痘 | 3 | 15 | 32 | 22 | 15 | 39 | 45 | 26 | 57 | 41 | 32 | 75 | 4 | 5 | | | | | | | 411 |
| 手足口病 | 42 | 346 | 1,156 | 672 | 388 | 247 | 137 | 91 | 36 | 23 | 15 | 41 | 3 | 28 | | | | | | | 3,225 |
| 伝染性紅斑 | 0 | 10 | 37 | 61 | 119 | 150 | 156 | 108 | 76 | 54 | 47 | 37 | 1 | 10 | | | | | | | 866 |
| 突発性発しん | 15 | 211 | 331 | 75 | 18 | 8 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 663 |
| ヘルパンギーナ | 3 | 78 | 231 | 156 | 111 | 96 | 62 | 38 | 24 | 11 | 13 | 9 | 3 | 7 | | | | | | | 842 |
| 流行性耳下腺炎 | 0 | 0 | 1 | 3 | 10 | 18 | 11 | 9 | 11 | 5 | 5 | 17 | 0 | 1 | | | | | | | 91 |
| 計 | 294 | 1,670 | 4,323 | 2,801 | 2,253 | 2,049 | 1,640 | 1,264 | 962 | 687 | 571 | 1,082 | 232 | 1,258 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21,086 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 1 | 1 | 16 | 15 | 9 | 13 | 11 | 9 | 2 | 7 | 3 | 20 | 12 | 17 | 61 | 31 | 25 | 17 | 16 | | 286 |
| 計 | 1 | 1 | 16 | 15 | 9 | 13 | 11 | 9 | 2 | 7 | 3 | 20 | 12 | 17 | 61 | 31 | 25 | 17 | 16 | 0 | 286 |

| 年齢 | 0 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-24 | 25-29 | 30-34 | 35-39 | 40-44 | 45-49 | 50-54 | 55-59 | 60-64 | 65-69 | 70- | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 細菌性髄膜炎 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 2 | 4 | 5 | 22 |
| 無菌性髄膜炎 | 6 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 23 |
| マイコプラズマ肺炎 | 1 | 10 | 39 | 18 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 76 |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | 10 | 49 | 19 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 81 |
| 計 | 19 | 60 | 60 | 20 | 3 | 1 | 2 | 6 | 1 | 5 | 9 | 0 | 1 | 3 | 6 | 6 | 202 |
| 性器クラミジア感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 73 | 30 | 15 | 22 | 14 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 182 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | 9 | 9 | 7 | 7 | 2 | 3 | 5 | 3 | 4 | 0 | 58 |
| 尖圭コンジローマ | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 11 | 8 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 32 |
| 淋菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 9 | 6 | 9 | 8 | 6 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 47 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 98 | 53 | 34 | 41 | 30 | 8 | 10 | 6 | 4 | 4 | 0 | 319 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 36 | 10 | 3 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 | 6 | 9 | 13 | 11 | 22 | 23 | 35 | 366 | 553 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 3 | 6 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 | 1 | 21 | 43 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 39 | 16 | 4 | 4 | 3 | 5 | 7 | 3 | 6 | 11 | 14 | 12 | 24 | 26 | 37 | 389 | 600 |

年齢別報告数（実数：10歳以上は1歳平均）

| 年齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10歳～ | 15歳～ | 20歳～ | 30歳～ | 40歳～ | 50歳～ | 60歳～ | 70歳～ | 80歳～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 226.0 | 536.0 | 540.0 | 623.0 | 815.0 | 780.0 | 806.0 | 810.0 | 698.0 | 615.0 | 417.6 | 137.0 | 77.2 | 93.4 | 106.0 | 76.3 | 60.8 | 36.3 | 24.2 |
| 年齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10歳～ | 15歳～ | 20歳～ | - | - | - | - | - | - |
| RSウイルス感染症 | 496.0 | 741.0 | 383.0 | 231.0 | 97.0 | 44.0 | 18.0 | 5.0 | 1.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 咽頭結膜熱 | 72.0 | 235.0 | 139.0 | 101.0 | 94.0 | 58.0 | 47.0 | 22.0 | 10.0 | 9.0 | 2.2 | 0.4 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 22.0 | 149.0 | 208.0 | 370.0 | 432.0 | 394.0 | 367.0 | 278.0 | 217.0 | 176.0 | 53.6 | 2.2 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 感染性胃腸炎 | 651.0 | 1,410.0 | 1,082.0 | 890.0 | 868.0 | 729.0 | 560.0 | 453.0 | 324.0 | 274.0 | 124.6 | 41.6 | 15.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 水痘 | 18.0 | 32.0 | 22.0 | 15.0 | 39.0 | 45.0 | 26.0 | 57.0 | 41.0 | 32.0 | 15.0 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 手足口病 | 388.0 | 1,156.0 | 672.0 | 388.0 | 247.0 | 137.0 | 91.0 | 36.0 | 23.0 | 15.0 | 8.2 | 0.6 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 伝染性紅斑 | 10.0 | 37.0 | 61.0 | 119.0 | 150.0 | 156.0 | 108.0 | 76.0 | 54.0 | 47.0 | 7.4 | 0.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 突発性発しん | 226.0 | 331.0 | 75.0 | 18.0 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヘルパンギーナ | 81.0 | 231.0 | 156.0 | 111.0 | 96.0 | 62.0 | 38.0 | 24.0 | 11.0 | 13.0 | 1.8 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.0 | 1.0 | 3.0 | 10.0 | 18.0 | 11.0 | 9.0 | 11.0 | 5.0 | 5.0 | 3.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 計 | 1,964.0 | 4,323.0 | 2,801.0 | 2,253.0 | 2,049.0 | 1,640.0 | 1,264.0 | 962.0 | 687.0 | 571.0 | 216.4 | 46.4 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| 年齢 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10歳～ | 15歳～ | 20歳～ | 30歳～ | 40歳～ | 50歳～ | 60歳～ | 70歳～ | 80歳～ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 急性出血性結膜炎 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 流行性角結膜炎 | 1.0 | 16.0 | 15.0 | 9.0 | 13.0 | 11.0 | 9.0 | 2.0 | 7.0 | 3.0 | 4.0 | 2.4 | 1.7 | 6.1 | 3.1 | 2.5 | 1.7 | 1.6 | 0.0 |
| 計 | 1.0 | 16.0 | 15.0 | 9.0 | 13.0 | 11.0 | 9.0 | 2.0 | 7.0 | 3.0 | 4.0 | 2.4 | 1.7 | 6.1 | 3.1 | 2.5 | 1.7 | 1.6 | 0.0 |

表2-2　疾患別・世代別報告数

疾患別・世代別　1歳平均　換算表

| 世代 | 乳児期 | 幼児期 | 学童期 | 思春期 | 成人期 | 老齢期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年齢 | 0歳 | 1～5歳 | 6～14歳 | 15～19歳 | 20～59歳 | 60歳～ |
| インフルエンザ | 226.0 | 658.8 | 557.4 | 137.0 | 88.2 | 40.4 |
| 年齢 | 0歳 | 1～5歳 | 6～14歳 | 15～19歳 | 20歳～ | |
| RSウイルス感染症 | 496.0 | 299.2 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | |
| 咽頭結膜熱 | 72.0 | 125.4 | 11.0 | 0.4 | 0.2 | |
| A群溶連菌咽頭炎 | 22.0 | 310.6 | 145.1 | 2.2 | 1.3 | |
| 感染症胃腸炎 | 651.0 | 995.8 | 248.2 | 41.6 | 15.7 | |
| 水痘 | 18.0 | 30.6 | 25.7 | 0.8 | 0.1 | |
| 手足口病 | 388.0 | 520.0 | 22.9 | 0.6 | 0.4 | |
| 伝染性紅斑 | 10.0 | 104.6 | 35.8 | 0.2 | 0.1 | |
| 突発性発しん | 226.0 | 87.2 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | |
| ヘルパンギーナ | 81.0 | 131.2 | 10.6 | 0.6 | 0.1 | |
| 流行性耳下腺炎 | 0.0 | 8.6 | 5.2 | 0.0 | 0.0 | |
| 計 | 1,964.0 | 2,613.2 | 507.3 | 46.4 | 18.0 | |

小児科定点の疾患別・世代別割合

| 世代 | 乳児期 | 幼児期 | 学童期 | 思春期 | 成人期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 年齢 | 0歳 | 1～5歳 | 6～14歳 | 15～19歳 | 20歳～ |
| RSウイルス感染症 | 25.3% | 11.4% | 0.5% | 0.0% | 0.0% |
| 咽頭結膜熱 | 3.7% | 4.8% | 2.2% | 0.9% | 1.4% |
| A群溶連菌咽頭炎 | 1.1% | 11.9% | 28.6% | 4.7% | 7.5% |
| 感染症胃腸炎 | 33.1% | 38.1% | 48.9% | 89.7% | 87.1% |
| 水痘 | 0.9% | 1.2% | 5.1% | 1.7% | 0.4% |
| 手足口病 | 19.8% | 19.9% | 4.5% | 1.3% | 2.2% |
| 伝染性紅斑 | 0.5% | 4.0% | 7.1% | 0.4% | 0.8% |
| 突発性発しん | 11.5% | 3.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| ヘルパンギーナ | 4.1% | 5.0% | 2.1% | 1.3% | 0.6% |
| 流行性耳下腺炎 | 0.0% | 0.3% | 1.0% | 0.0% | 0.1% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

表3　疾患別・保健所別報告数

報告実数

| | 奈良市 | 郡山 | 中和(東) | 中和(西) | 内吉野 | 吉野 | 北部 | 中部 | 南部 | 奈良県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 3,342 | 3,210 | 2,698 | 3,441 | 304 | 969 | 6,552 | 6,139 | 1,273 | 13,964 |
| RSウイルス感染症 | 363 | 234 | 527 | 828 | 2 | 63 | 597 | 1,355 | 65 | 2,017 |
| 咽頭結膜熱 | 120 | 163 | 172 | 315 | 16 | 31 | 283 | 487 | 47 | 817 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 439 | 519 | 595 | 1,259 | 21 | 153 | 958 | 1,854 | 174 | 2,986 |
| 感染症胃腸炎 | 1,852 | 2,322 | 1,950 | 2,701 | 114 | 229 | 4,174 | 4,651 | 343 | 9,168 |
| 水痘 | 132 | 114 | 95 | 48 | 2 | 20 | 246 | 143 | 22 | 411 |
| 手足口病 | 778 | 672 | 805 | 824 | 12 | 134 | 1,450 | 1,629 | 146 | 3,225 |
| 伝染性紅斑 | 338 | 242 | 118 | 124 | 3 | 41 | 580 | 242 | 44 | 866 |
| 突発性発しん | 148 | 114 | 160 | 229 | 0 | 12 | 262 | 389 | 12 | 663 |
| ヘルパンギーナ | 139 | 241 | 205 | 163 | 7 | 87 | 380 | 368 | 94 | 842 |
| 流行性耳下腺炎 | 28 | 30 | 14 | 12 | 1 | 6 | 58 | 26 | 7 | 91 |
| 計 | 4,337 | 4,651 | 4,641 | 6,503 | 178 | 776 | 8,988 | 11,144 | 954 | 21,086 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 73 | 61 | 113 | 39 | 0 | 0 | 134 | 152 | 0 | 286 |
| 計 | 73 | 61 | 113 | 39 | 0 | 0 | 134 | 152 | 0 | 286 |
| 細菌性髄膜炎 | 0 | 14 | 6 | 1 | 0 | 1 | 14 | 7 | 1 | 22 |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 0 | 12 | 9 | 0 | 2 | 0 | 21 | 2 | 23 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 20 | 6 | 47 | 0 | 3 | 20 | 53 | 3 | 76 |
| クラミジア肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0 | 27 | 3 | 29 | 0 | 22 | 27 | 32 | 22 | 81 |
| 計 | 0 | 61 | 27 | 86 | 0 | 28 | 61 | 113 | 28 | 202 |
| 性器クラミジア感染症 | 23 | 74 | 12 | 73 | 0 | 0 | 97 | 85 | 0 | 182 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 17 | 15 | 0 | 26 | 0 | 0 | 32 | 26 | 0 | 58 |
| 尖圭コンジローマ | 5 | 10 | 0 | 17 | 0 | 0 | 15 | 17 | 0 | 32 |
| 淋菌感染症 | 1 | 33 | 3 | 10 | 0 | 0 | 34 | 13 | 0 | 47 |
| 計 | 46 | 132 | 15 | 126 | 0 | 0 | 178 | 141 | 0 | 319 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 185 | 139 | 112 | 101 | 0 | 16 | 324 | 213 | 16 | 553 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0 | 39 | 0 | 4 | 0 | 0 | 39 | 4 | 0 | 43 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 185 | 182 | 112 | 105 | 0 | 16 | 367 | 217 | 16 | 600 |

定点当たり報告数

| | 奈良市 | 郡山 | 中和(東) | 中和(西) | 内吉野 | 吉野 | 北部 | 中部 | 南部 | 奈良県 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 238.71 | 229.29 | 245.27 | 344.10 | 152.00 | 242.25 | 234.00 | 292.33 | 212.17 | 253.89 |
| RSウイルス感染症 | 40.33 | 26.00 | 75.29 | 138.00 | 2.00 | 31.50 | 33.17 | 104.23 | 21.67 | 59.32 |
| 咽頭結膜熱 | 13.33 | 18.11 | 24.57 | 52.50 | 16.00 | 15.50 | 15.72 | 37.46 | 15.67 | 24.03 |
| A群溶連菌咽頭炎 | 48.78 | 57.67 | 85.00 | 209.83 | 21.00 | 76.50 | 53.22 | 142.62 | 58.00 | 87.82 |
| 感染症胃腸炎 | 205.78 | 258.00 | 278.57 | 450.17 | 114.00 | 114.50 | 231.89 | 357.77 | 114.33 | 269.65 |
| 水痘 | 14.67 | 12.67 | 13.57 | 8.00 | 2.00 | 10.00 | 13.67 | 11.00 | 7.33 | 12.09 |
| 手足口病 | 86.44 | 74.67 | 115.00 | 137.33 | 12.00 | 67.00 | 80.56 | 125.31 | 48.67 | 94.85 |
| 伝染性紅斑 | 37.56 | 26.89 | 16.86 | 20.67 | 3.00 | 20.50 | 32.22 | 18.62 | 14.67 | 25.47 |
| 突発性発しん | 16.44 | 12.67 | 22.86 | 38.17 | 0.00 | 6.00 | 14.56 | 29.92 | 4.00 | 19.50 |
| ヘルパンギーナ | 15.44 | 26.78 | 29.29 | 27.17 | 7.00 | 43.50 | 21.11 | 28.31 | 31.33 | 24.76 |
| 流行性耳下腺炎 | 3.11 | 3.33 | 2.00 | 2.00 | 1.00 | 3.00 | 3.22 | 2.00 | 2.33 | 2.68 |
| 計 | 481.89 | 516.78 | 663.00 | 1,083.83 | 178.00 | 388.00 | 499.33 | 857.23 | 318.00 | 620.18 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 24.33 | 20.33 | 56.50 | 19.50 | 0.00 | 0.00 | 22.33 | 38.00 | 0.00 | 28.60 |
| 計 | 24.33 | 20.33 | 56.50 | 19.50 | 0.00 | 0.00 | 22.33 | 38.00 | 0.00 | 28.60 |
| 細菌性髄膜炎 | 0.00 | 7.00 | 6.00 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | 4.67 | 3.50 | 1.00 | 3.67 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.00 | 12.00 | 9.00 | 0.00 | 2.00 | 0.00 | 10.50 | 2.00 | 3.83 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 10.00 | 6.00 | 47.00 | 0.00 | 3.00 | 6.67 | 26.50 | 3.00 | 12.67 |
| クラミジア肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0.00 | 13.50 | 3.00 | 29.00 | 0.00 | 22.00 | 9.00 | 16.00 | 22.00 | 13.50 |
| 計 | 0.00 | 30.50 | 27.00 | 86.00 | 0.00 | 28.00 | 20.33 | 56.50 | 28.00 | 33.67 |
| 性器クラミジア感染症 | 7.67 | 24.67 | 6.00 | 24.33 | 0.00 | 0.00 | 16.17 | 17.00 | 0.00 | 16.55 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 5.67 | 5.00 | 0.00 | 8.67 | 0.00 | 0.00 | 5.33 | 5.20 | 0.00 | 5.27 |
| 尖圭コンジローマ | 1.67 | 3.33 | 0.00 | 5.67 | 0.00 | 0.00 | 2.50 | 3.40 | 0.00 | 2.91 |
| 淋菌感染症 | 0.33 | 11.00 | 1.50 | 3.33 | 0.00 | 0.00 | 5.67 | 2.60 | 0.00 | 4.27 |
| 計 | 15.33 | 44.00 | 7.50 | 42.00 | 0.00 | 0.00 | 29.67 | 28.20 | 0.00 | 29.00 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 185.00 | 69.50 | 112.00 | 101.00 | 0.00 | 16.00 | 108.00 | 106.50 | 16.00 | 92.17 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0.00 | 19.50 | 0.00 | 4.00 | 0.00 | 0.00 | 13.00 | 2.00 | 0.00 | 7.17 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.00 | 2.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 1.33 | 0.00 | 0.00 | 0.67 |
| 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 計 | 185.00 | 91.00 | 112.00 | 105.00 | 0.00 | 16.00 | 122.33 | 108.50 | 16.00 | 100.00 |